

横浜市道路台帳区域線図データ

製品仕様書

平成28年3月

横浜市

目次

1	概覧	5
1.1	製品仕様書の作成情報	5
1.2	目的	5
1.3	範囲	5
1.3.1	空間範囲	5
1.3.2	時間範囲	5
1.4	引用規格	5
1.5	用語と定義	6
2	適用範囲	6
2.1	適用範囲識別	6
2.2	階層レベル	6
3	データ製品識別	6
3.1	データ製品の題名	6
3.2	問い合わせ先	6
4	データ内容及び構造	7
4.1	応用スキーマ UML クラス図	7
4.1.1	横浜市道路台帳区域線図データ応用スキーマパッケージ構成	7
4.1.2	横浜市道路台帳区域線図データ集合パッケージ	8
4.1.3	区域線図滅失データパッケージ	9
4.2	応用スキーマ文書	10
4.2.1	横浜市道路台帳区域線図データ集合パッケージ	10
	横浜市道路台帳区域線図データ集合	10
	道路台帳区域線図データ	10
	道路区域線	11
	道路区域線（重複管理）	12
	道路区域線（未確定）	14
	区域線距離	16
	区域線距離（拡大）	17
	区域線距離（重複管理）	19
	道路境界標	20
	道路境界標（公共座標）	24
	道路境界標（任意座標）	25
	図上点	25
	図上点（公共座標）	29
	図上点（任意座標）	29

道路境界標番号	30
道路境界標番号（拡大）	31
道路境界標間距離表示線	33
道路境界標間距離	34
道路境界標間距離（拡大）	36
引出線	38
引出線（拡大）	39
区域界	41
道路・水路界	41
道路・青地界	41
水路・青地界	42
道路・水道用地界	43
道路内民地界	43
重複管理区域界	44
その他境界	44
注記	44
都府県名	45
市名	46
区名	46
町丁目名	47
地番	47
道路表記	47
水路表記	48
青地表記	49
施設表記	49
道路の路線名	50
鉄道の路線名	51
河川表記	51
橋梁表記	52
重複管理区域	52
水道用地表記	53
上空占用区域	54
その他表記	54
図郭	54
大図郭（旧座標）	55
小図郭（旧図郭）	56
大図郭（新座標）	56

小図郭（新座標）	56
4.2.2 区域線図滅失データパッケージ	58
区域線図滅失データ	58
滅失道路区域線	58
滅失道路境界標	59
滅失道路境界標（公共座標）	63
滅失道路境界標（任意座標）	64
滅失図上点	64
滅失図上点（公共座標）	67
滅失図上点（任意座標）	68
滅失道路境界標間距離表示線	69
4.3 空間スキーマ	71
4.4 時間スキーマ	71
5 参照系	72
5.1 座標参照系	72
5.2 時間参照系	72
6 データ品質	73
6.1 品質要求	73
6.1.1 データ品質要素：完全性	73
6.1.2 データ品質要素：論理一貫性	73
6.1.3 データ品質要素：位置正確度	74
6.1.4 データ品質要素：時間正確度	74
6.1.5 データ品質要素：主題正確度	76
6.2 品質評価手順	77
6.2.1 データ品質要素：完全性	77
6.2.2 データ品質要素：論理一貫性	78
6.2.3 データ品質要素：位置正確度	79
6.2.4 データ品質要素：時間正確度	79
6.2.5 データ品質要素：主題正確度	80
7 データ製品配布	81
7.1 配布書式情報	81
7.2 配布媒体情報	81
7.3 ファイル名規則	81
7.4 dbf ファイルのフィールド名規則	82
8 メタデータ	88
8.1 メタデータの形式	88
8.2 メタデータの作成単位	88

1 概覧

1.1 製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報を次に示す。

- ✓ 製品仕様書の題名：横浜市道路台帳区域線図データ製品仕様書
- ✓ 日付：2013-03-20
- ✓ 作成者：横浜市道路局道路部道路調査課
- ✓ 言語：日本語
- ✓ 分野：道路区域管理
- ✓ 文書形式：PDF

1.2 目的

本製品仕様書は、横浜市道路台帳区域線図データの構造、品質要求及び符号化仕様を示す。

本製品仕様書に基づく道路台帳区域線図データは、横浜市の道路の区域を管理することを目的に使用される。

1.3 範囲

本製品仕様書が対象とする空間範囲及び時間範囲を次に示す。

1.3.1 空間範囲

神奈川県横浜市を含む範囲とする。

1.3.2 時間範囲

平成 24 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日

1.4 引用規格

- ✓ 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 2014 平成 26 年 4 月
- ✓ 品質の要求, 評価及び報告のための規則 Ver1.0 平成 19 年 3 月一部改訂
- ✓ 日本版メタデータプロファイル (JMP2.0 仕様書)
- ✓ 横浜市道路台帳測量作業規程 (国国地 607 号) 平成 22 年 3 月
- ✓ 横浜市公共測量作業規程 (国国地 162 号) 平成 21 年 6 月
(横浜市道路台帳測量作業規程を優先する。)
- ✓ 測量法

- ✓ その他関係法令及び諸規則

1.5 用語と定義

地理情報標準プロファイルに関する専門用語とその定義は、次の基準に従う。

- ✓ 地理情報標準プロファイル (JPGIS) Ver2.1 附属書 5 (規定) 定義

2 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

- ✓ 横浜市道路台帳区域線図データ製品仕様書適用範囲

2.2 階層レベル

- ✓ データ集合

3 データ製品識別

3.1 データ製品の題名

- ✓ 横浜市道路台帳区域線図データ

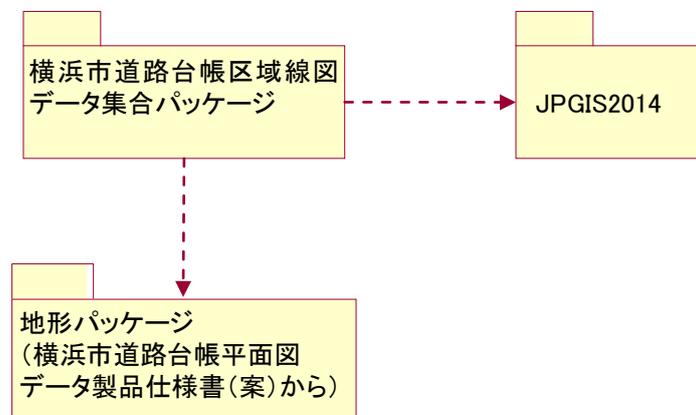
3.2 問い合わせ先

- ✓ 横浜市道路局道路部道路調査課
- ✓ 電話 (代表) : 045-671-2744

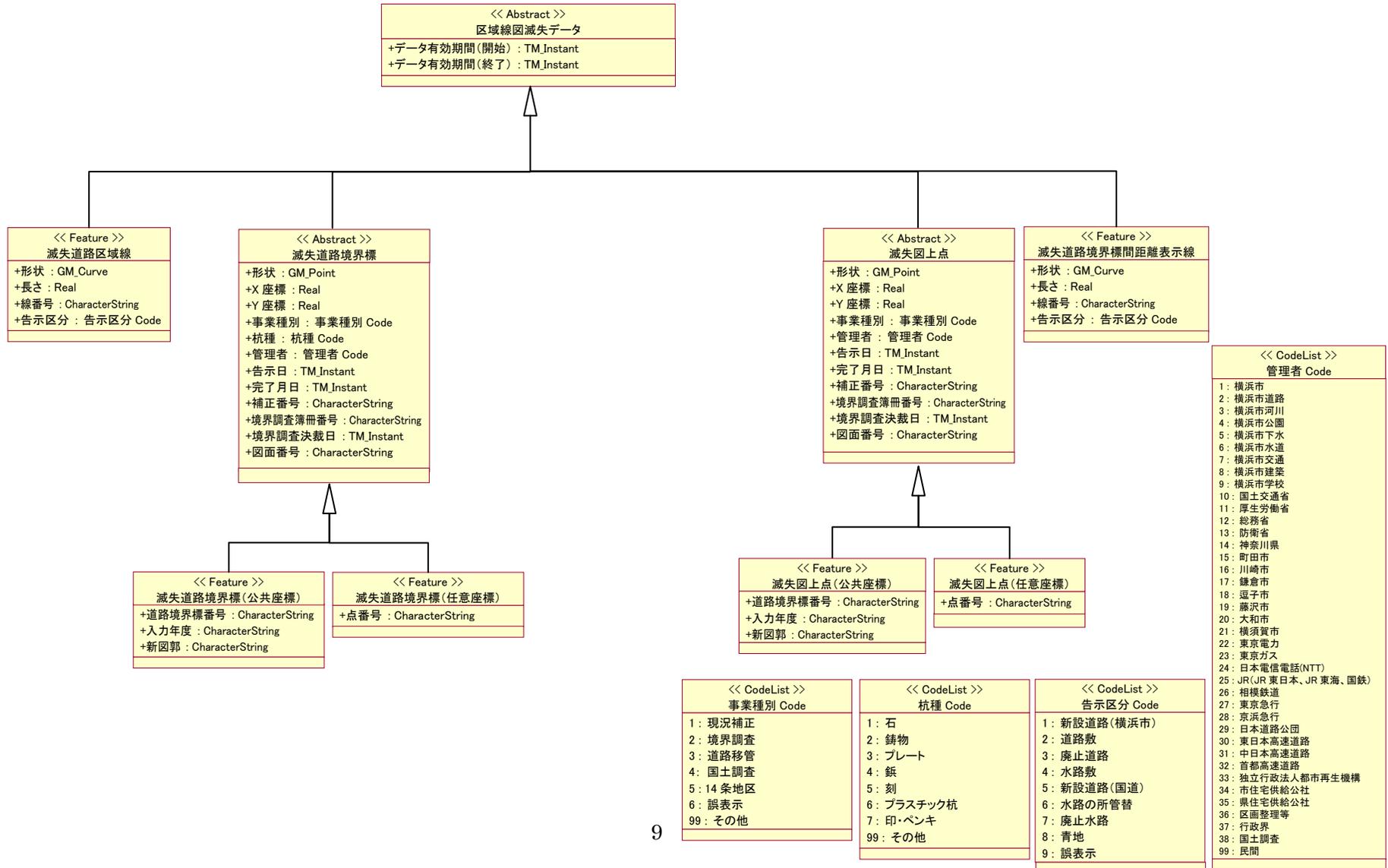
4 データ内容及び構造

4.1 応用スキーマUMLクラス図

4.1.1 横浜市道路台帳区域線図データ応用スキーマパッケージ構成



4.1.3 区域線図滅失データパッケージ



4.2 応用スキーマ文書

4.2.1 横浜市道路台帳区域線図データ集合パッケージ

横浜市道路台帳区域線図データ集合

横浜市道路台帳区域線図のデータ集合。

上位クラス：なし

抽象/具象区分：具象

関連役割：

object [1..*]：横浜市道路台帳区域線図データ

横浜市道路台帳区域線図データ集合を構成する1つ以上の横浜市道路台帳区域線図データ。

道路台帳区域線図データ

横浜市道路台帳区域線図を構成する地物。

上位クラス：なし

抽象/具象区分：抽象

属性：

データ有効期間（開始）：TM_Instant

〈定義〉

オブジェクトが存在しうる最初の年月日。

年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。

不明の場合は、2999-12-31 とする。

〈定義域〉

地物が持ちえる日付とする。

データ有効期間（終了）：TM_Instant

〈定義〉

オブジェクトが存在しうる最後の年月日。

年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。

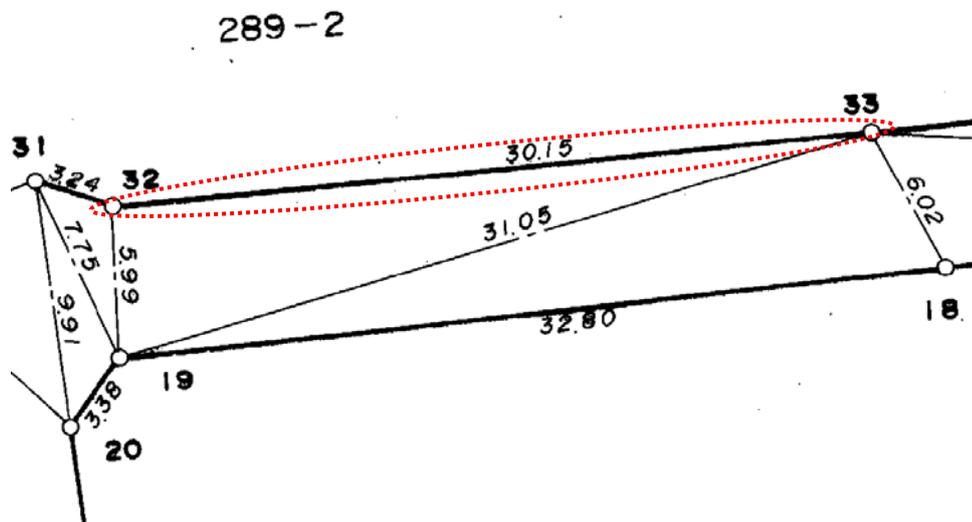
不明の場合は、2999-12-31 とする。

〈定義域〉

地物が持ちえる日付とする。

道路区域線

道路法による道路の区域とその他の区域の境界線。



上位クラス：道路台帳区域線図データ

抽象/具象区分：具象

属性：

形状：GM_Curve

<定義>

道路の区域の境界線の形状。

<取得基準>

道路の区域の境界を直線で取得する。

GM_Curveの始点および終点の座標の値は、道路境界標または図上点の座標の値と一致しなければならない。また、道路区域線に中間点は存在してはならない。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

長さ：Real

<定義>

両端の道路境界標または図上点の座標値から算出した道路区域線の長さ。単位はメートルとし、少数第4位を切り捨て小数第3位を四捨五入した小数第2位までの値とする。

<定義域>

地物が持ちえる長さとする。

線番号 : CharacterString

<定義>

道路区域線と区域線距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および区郭番号の24byteで構成する。

(例) 010-40の区郭にある道路境界標番号99と010-41の区郭にある100を結ぶ道路区域線の場合

入力値 : 010400000099010410000100

<定義域>

地物が持ちえる値とする。なおクラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない

告示区分 : 告示区分 Code

<定義>

道路区域線が決定された告示区分の種別。

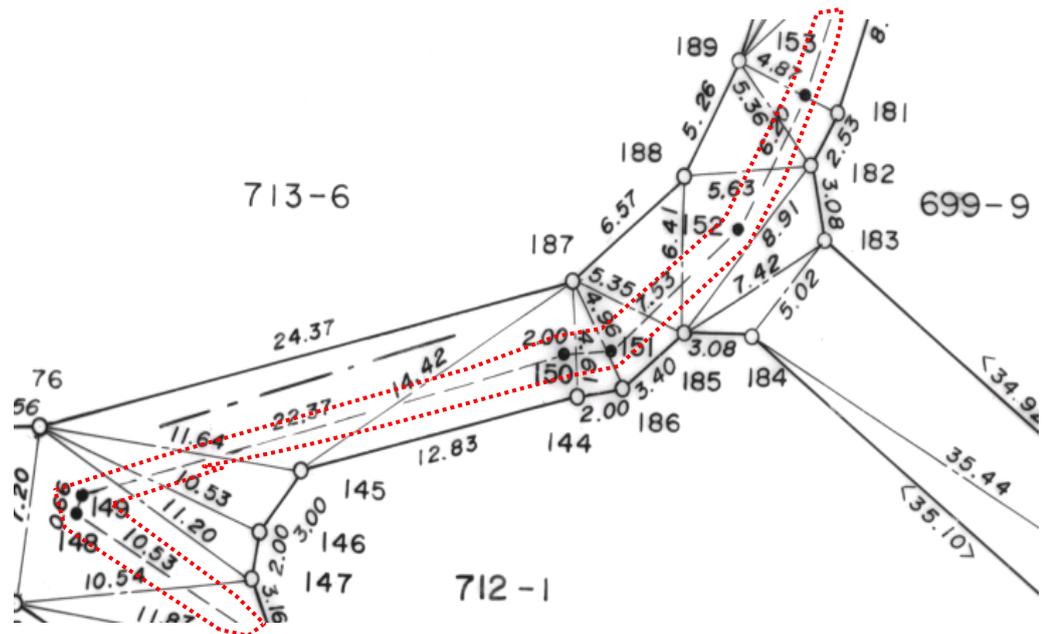
<定義域>

下のコード表より値を選択する。

告示区分	値
新設道路 (横浜市)	1
道路敷	2
廃止道路	3
水路敷	4
新設道路 (国道)	5
水路の所管替	6
廃止水路	7
青地	8
誤表示	9

道路区域線 (重複管理)

道路内にある、重複管理区域の境界を表す線分のうち、道路区域線同様に、境界標、及び境界標間距離による管理が行われている線分。



上位クラス：道路台帳区域線図データ

抽象/具象区分：具象

属性：

形状：GM_Curve

<定義>

重複管理区域の境界線の形状。

<取得基準>

重複管理区域の境界を直線で取得する。

GM_Curveの始点および終点の座標の値は、道路境界標または図上点の座標の値と一致しなければならない。また、道路区域線（重複管理）に中間点は存在してはならない。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

長さ：Real

<定義>

両端の道路境界標、又は図上点の座標値から算出した道路区域線（重複管理）の長さ。単位はメートルとし、少数第4位を切り捨て小数第3位を四捨五入した小数第2位までの値とする。

<定義域>

地物が持ちえる長さとする。

線番号：CharacterString

<定義>

道路区域線（重複管理）と区域線距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。

（例）010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路区域線の場合

入力値：010400000099010410000100

<定義域>

地物が持ちえる値とする。なおクラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない

告示区分：告示区分 Code

<定義>

道路区域線（重複管理）が決定された告示区分の種別。

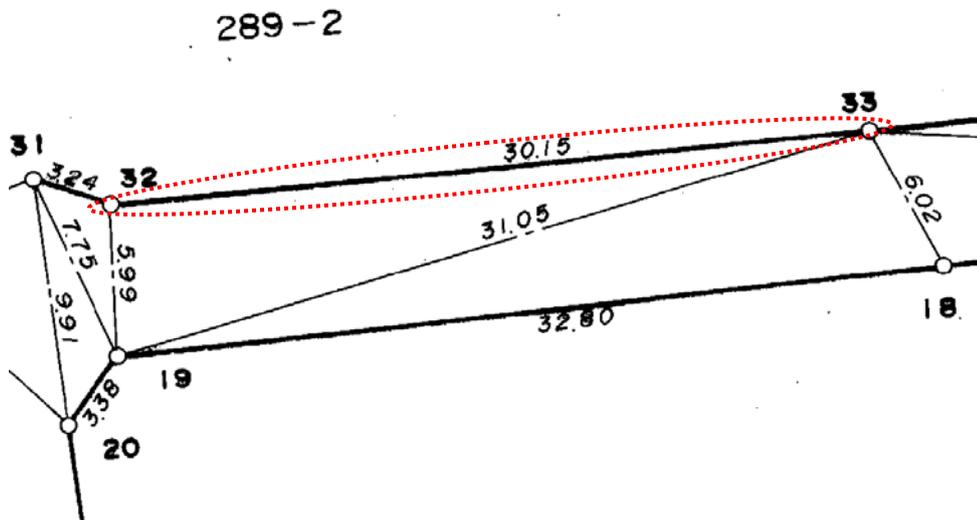
<定義域>

下のコード表より値を選択する。

告示区分	値
新設道路（横浜市）	1
道路敷	2
廃止道路	3
水路敷	4
新設道路（国道）	5
水路の所管替	6
廃止水路	7
青地	8
誤表示	9

道路区域線（未確定）

道路法による道路の区域とその他の区域の境界線のうち未確定であるもの。



上位クラス：道路台帳区域線図データ

抽象/具象区分：具象

属性：

形状：GM_Curve

<定義>

道路の区域の境界線の形状。

<取得基準>

道路の区域の境界を直線で取得する。

GM_Curveの始点および終点の座標の値は、道路境界標または図上点の座標の値と一致しなければならない。また、道路区域線に中間点は存在してはならない。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

長さ：Real

<定義>

両端の道路境界標または図上点の座標値から算出した道路区域線の長さ。単位はメートルとし、少数第4位を切り捨て小数第3位を四捨五入した小数第2位までの値とする。

<定義域>

地物が持ちえる長さとする。

線番号：CharacterString

<定義>

道路区域線（未確定）と区域線距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。

（例）010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路区域線の場合

入力値：010400000099010410000100

<定義域>

地物が持ちえる値とする。なおクラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない

告示区分：告示区分 Code

<定義>

道路区域線が決定された告示区分の種別。

<定義域>

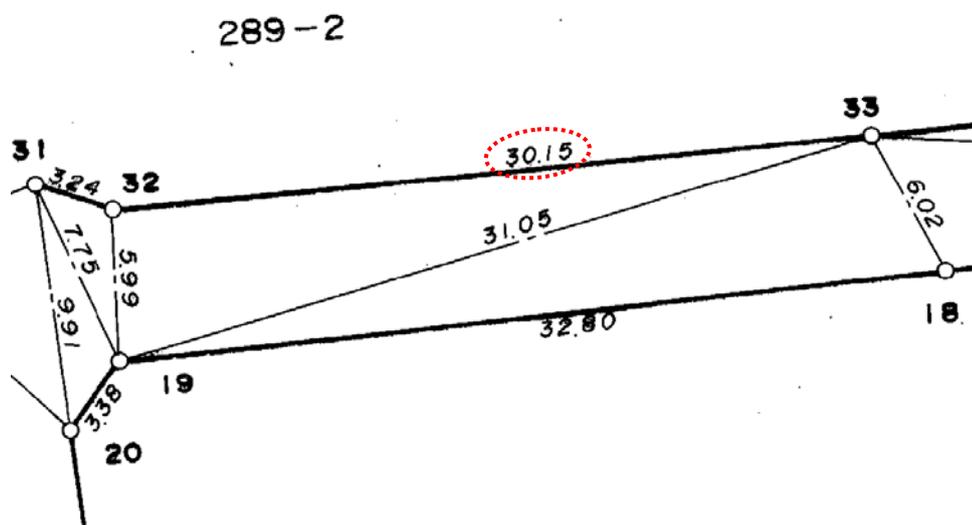
下のコード表より値を選択する。

告示区分	値
新設道路（横浜市）	1

道路敷	2
廃止道路	3
水路敷	4
新設道路（国道）	5
水路の所管替	6
廃止水路	7
青地	8
誤表示	9

区域線距離

道路区域線の延長を表す文字列。



形状：GM_Point

<定義>

道路区域線の延長を表す文字列の位置。

<取得基準>

道路区域線の延長を表す文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。なお、表示する文字列の高さは縮尺1/500で表示した状態で、図上1.0mmとする。



<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

表示文字：CharacterString

<定義>

道路区域線の延長を表す文字列。単位はメートルとし、小数第4位を切り捨て小数第3位を四捨五入した小数第2位までの値とする。

抽象/具象区分：具象

属性：

形状：GM_Point

<定義>

道路区域線の延長を表す文字列の位置。

<取得基準>

道路区域線の延長を表す文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。なお、表示する文字列の高さは縮尺1/50で表示した状態で、図上2.0mmとする。



<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

表示文字：CharacterString

<定義>

道路区域線の延長を表す文字列。単位はメートルとし、小数第4位を切り捨て小数第3位を四捨五入した小数第2位までの値とする。

<定義域>

地物が持ちえる内容とする。

文字列角度：Real

<定義>

道路区域線の延長を表す文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を0°とし、反時計回りの角度）で入力する。原則、区域線の傾き角度に合わせる。

<定義域>

0 以上 360 未満

線番号：CharacterString

<定義>

道路境界標間距離表示線と道路境界標間距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。

（例）010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路区域線の場合

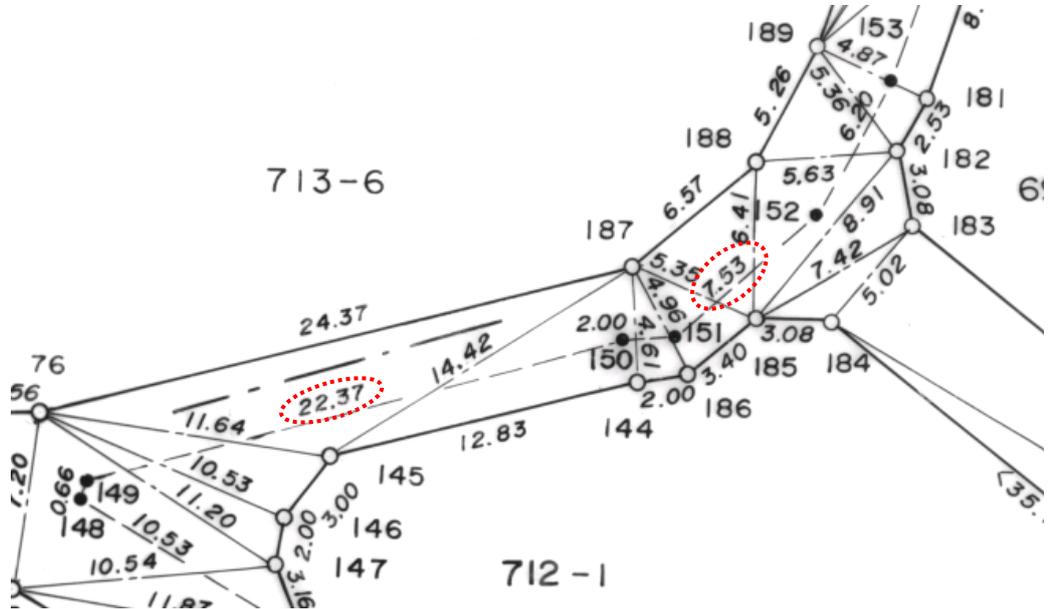
入力値：010400000099010410000100

<定義域>

地物が持ちえる値とする。なおクラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない

区域線距離（重複管理）

道路区域線（重複管理）の延長を表す文字列。



形状：GM_Point

<定義>

道路区域線（重複管理）の延長を表す文字列の位置。

<取得基準>

道路区域線の延長を表す文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。なお、表示する文字列の高さは縮尺1/500で表示した状態で、図上1.0mmとする。



<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

表示文字：CharacterString

<定義>

道路区域線（重複管理）の延長を表す文字列。単位はメートルとし、小数第4位を切り捨て小数第3位を四捨五入した小数第2位までの値とする。

<定義域>

地物が持ちえる内容とする。

文字列角度：Real

<定義>

道路区域線（重複管理）の延長を表す文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を0°とし、反時計回りの角度）で入力する。原則、区域線の傾き角度に合わせる。

<定義域>

0 以上 360 未満

線番号 : **CharacterString**

<定義>

道路境界標間距離表示線と道路境界標間距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。

（例）010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路区域線の場合

入力値 : 010400000099010410000100

<定義域>

地物が持ちえる値とする。なおクラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない

道路境界標

道路法による道路の区域とその他の区域の境界を示す標識。

上位クラス : 道路台帳区域線図データ

抽象/具象区分 : 抽象

属性 :

形状 : **GM_Point**

<定義>

道路の区域の境界を示す点。

<取得基準>

道路境界の座標値を取得する。

GM_Pointの座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

X座標 : **Real**

<定義>

道路境界標の測量成果のX座標。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

Y座標：Real

<定義>

道路境界標の測量成果のY座標。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

事業種別：事業種別 Code

<定義>

道路境界標が設置された事業の種別。

<定義域>

下のコード表より値を選択する。

事業種別	値
現況補正	1
境界調査	2
道路移管	3
国土調査	4
14条地区	5
誤表示	6
その他	99

杭種：杭種 Code

<定義>

道路境界標の種別。

<定義域>

下のコード表より値を選択する。

杭種	値
石	1
鋳物	2
プレート	3
鋳	4
刻	5
プラスチック杭	6
印・ペンキ	7
その他	99

管理者：管理者 Code

<定義>

道路境界標の管理者。

<定義域>

下のコード表より値を選択する。管理者不明の場合は、NULLとする。

管理者	値
横浜市	1
横浜市道路	2

管理者	値
横浜市河川	3
横浜市公園	4
横浜市下水	5
横浜市水道	6
横浜市交通	7
横浜市建築	8
横浜市学校	9
国土交通省	10
厚生労働省	11
総務省	12
防衛省	13
神奈川県	14
町田市	15
川崎市	16
鎌倉市	17
逗子市	18
藤沢市	19
大和市	20
横須賀市	21
東京電力	22
東京ガス	23
日本電信電話 (NTT)	24
JR (JR東日本、JR東海、国鉄)	25
相模鉄道	26
東京急行	27
京浜急行	28
日本道路公団	29
東日本高速道路	30
中日本高速道路	31
首都高速道路	32
独立行政法人都市再生機構	33
市住宅供給公社	34
県住宅供給公社	35
区画整理等	36
行政界	37
国土調査	38
民間	99

告示日 : TM_Instant

<定義>

道路境界の告示年月日。

年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。

不明の場合は、NULLとする。

<定義域>

地物が持ちえる日付とする。

完了月日 : TM_Instant

<定義>

横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年月日。

年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。

不明の場合は、NULLとし、月日が不明の場合は、yyyy-00-00とする。

<定義域>

地物が持ちえる日付とする。

補正番号：CharacterString

<定義>

道路境界の補正番号。区名、年度（和暦）、通し番号（2桁）で構成する。年度と通し番号はハイフンで接続する。存在しない場合は、NULLとする。

（例）緑区、平成22年度、通し番号1の場合

入力値：緑22-01

<定義域>

地物が持ちえる値とする。

境界調査簿冊番号：CharacterString

<定義>

道水路等境界調査の簿冊番号。区名、冊番、号番で構成する。存在しない場合は、NULLとする。

（例）緑区、1冊、1号の場合

入力値：緑区1冊1号

<定義域>

地物が持ちえる名称とする。

境界標調査決裁日：TM_Instant

<定義>

道水路等境界標調査の決裁年月日。

年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。

不明の場合は、NULLとする。

<定義域>

地物が持ちえる日付とする。

図面番号：CharacterString

<定義>

道路台帳区域線図1図葉の図郭番号。

大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。

（例）大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40の場合

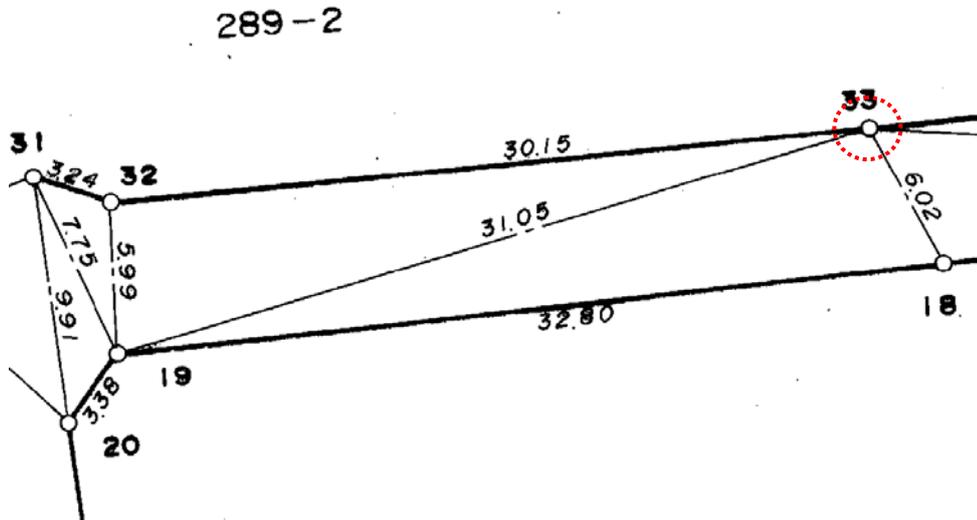
入力値：10-40

<定義域>

地物が持ちえる値とする。

道路境界標 (公共座標)

道路法による道路の区域とその他の区域の境界を示す標識のうち、公共測量成果を有するもの。



上位クラス：道路境界標

抽象/具象区分：具象

属性：

道路境界標番号：CharacterString

<定義>

道路境界標を識別するための番号。番号は先頭0詰め7桁とする。

(例) 番号99の場合

入力値：0000099

<定義域>

地物が持ちえる名称とする。

入力年度：CharacterString

<定義>

横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年度。年度は和暦で記述する。

(例) 昭和63年度の場合

入力値：昭和63年度 (年度の値は半角数字とする)

<定義域>

地物が持ちえる年度とする。

新図郭：CharacterString

<定義>

道路台帳区域線図1図葉の新図郭番号。

大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。

(例) 大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40の場合

入力値：10-40

<定義域>

地物が持ちえる値とする。

道路境界標 (任意座標)

道路法による道路の区域とその他の区域の境界を示す標識のうち、公共測量成果を有さない任意座標のもの。

上位クラス：道路境界標

抽象/具象区分：具象

属性：

点番号：CharacterString

<定義>

道路境界標を識別するための番号。番号は先頭0詰め6桁とし、頭にNを付与する。

(例) 番号99の場合

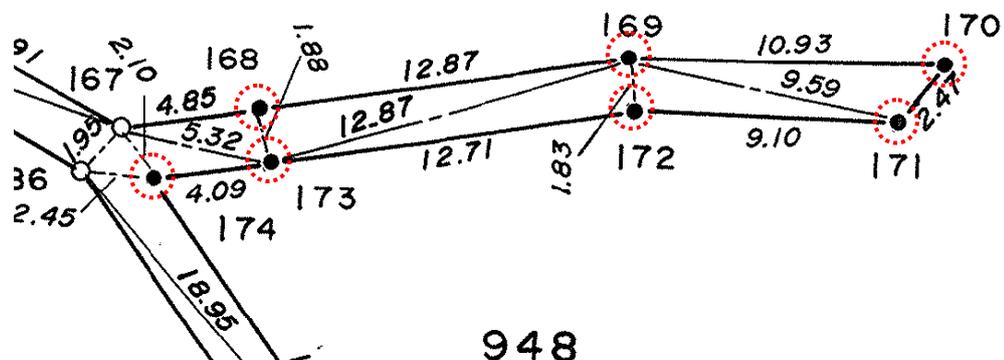
入力値：N000099

<定義域>

地物が持ちえる値とする。なお、クラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。

図上点

道路法による道路の区域とその他の区域の境界線の折れ点のうち、測量計算により求められたもの。道路境界標は設置されていない。



上位クラス：道路台帳区域線図データ

抽象/具象区分：抽象

属性：

形状：GM_Point

<定義>

道路の区域の境界を示す点。

<取得基準>

図上点の座標値を取得する。

GM_Pointの座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

X座標：Real

<定義>

図上点の測量成果のX座標。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

Y座標：Real

<定義>

図上点の測量成果のY座標。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

事業種別：事業種別 Code

<定義>

道路境界標が設置された事業の種別。

<定義域>

<定義域>

下のコード表より値を選択する。

事業種別	値
現況補正	1
境界調査	2
道路移管	3
国土調査	4
14条地区	5
誤表示	6
その他	99

管理者：管理者 Code

<定義>

道路境界標の管理者。

<定義域>

下のコード表より値を選択する。管理者不明の場合は、NULLとする。

管理者	値
横浜市	1
横浜市道路	2
横浜市河川	3
横浜市公園	4
横浜市下水	5
横浜市水道	6
横浜市交通	7
横浜市建築	8
横浜市学校	9
国土交通省	10
厚生労働省	11
総務省	12
防衛省	13
神奈川県	14
町田市	15
川崎市	16
鎌倉市	17
逗子市	18
藤沢市	19
大和市	20
横須賀市	21
東京電力	22
東京ガス	23
日本電信電話(NTT)	24
JR (JR東日本、JR東海、国鉄)	25
相模鉄道	26
東京急行	27
京浜急行	28
日本道路公団	29
東日本高速道路	30
中日本高速道路	31
首都高速道路	32
独立行政法人都市再生機構	33
市住宅供給公社	34
県住宅供給公社	35
区画整理等	36
行政界	37
国土調査	38
民間	99

告示日 : **TM_Instant**

<定義>

道路境界の告示年月日。

年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。

不明の場合は、NULLとする。

<定義域>

地物が持ちえる日付とする。

完了月日 : TM_Instant

<定義>

横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年月日。

年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。

不明の場合は、NULLとし、月日が不明の場合は、yyyy-00-00とする。

<定義域>

地物が持ちえる日付とする。

補正番号 : CharacterString

<定義>

道路境界の補正番号。区名、年度（和暦）、通し番号（2桁）で構成する。年度と通し番号はハイフンで接続する。存在しない場合は、NULLとする。

（例）緑区、平成22年度、通し番号1の場合

入力値：緑22-01

<定義域>

地物が持ちえる値とする。

境界調査簿冊番号 : CharacterString

<定義>

道水路等境界調査の簿冊番号。区名、冊番、号番で構成する。存在しない場合は、NULLとする。

（例）緑区、1冊、1号の場合

入力値：緑区1冊1号

<定義域>

地物が持ちえる名称とする。

境界標調査決裁日 : TM_Instant

<定義>

道水路等境界標調査の決裁年月日。

年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。

不明の場合は、NULLとする。

<定義域>

地物が持ちえる日付とする。

図面番号 : CharacterString

<定義>

道路台帳区域線図1図葉の図郭番号。

大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。

（例）大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40の場合

入力値：10-40

<定義域>

地物が持ちえる値とする。

図上点（公共座標）

道路法による道路の区域とその他の区域の境界線の折れ点のうち、測量計算により求められたもの。道路境界標は設置されていない。公共測量成果を有する。

上位クラス：図上点

抽象/具象区分：具象

属性：

道路境界標番号：CharacterString

<定義>

折れ点を識別するための番号。番号は先頭0詰め7桁とする。

（例）番号99の場合

入力値：0000099

<定義域>

地物が持ちえる名称とする。

入力年度：CharacterString

<定義>

横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年度。年度は和暦で記述する。

（例）昭和63年度の場合

入力値：昭和63年度（年度の値は半角数字とする）

<定義域>

地物が持ちえる年度とする。

新図郭：CharacterString

<定義>

道路台帳区域線図1図葉の新図郭番号。

大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。

（例）大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40の場合

入力値：10-40

<定義域>

地物が持ちえる値とする。

図上点（任意座標）

道路法による道路の区域とその他の区域の境界線の折れ点のうち、公共測量座標を有さない任意座標のもの。道路境界標は設置されていない。

上位クラス：図上点

抽象/具象区分：具象

属性：

点番号：CharacterString

〈定義〉

折れ点を識別するための番号。番号は先頭0詰め6桁とし、頭にNを付与する。

(例) 番号99の場合

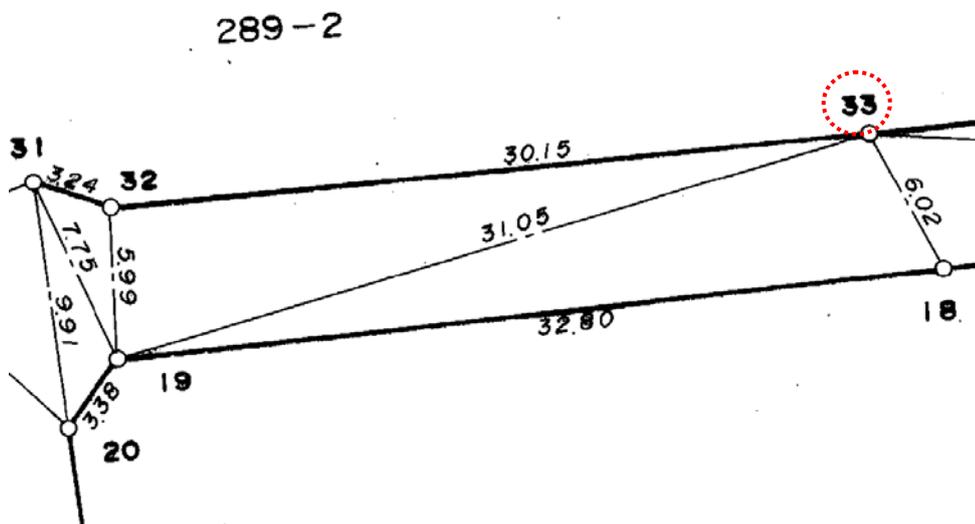
入力値：N000099

〈定義域〉

地物が持ちえる値とする。なお、クラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。

道路境界標番号

道路境界標または図上点を識別するための番号を表す文字列。



上位クラス：道路台帳区域線図データ

抽象/具象区分：具象

属性：

形状：GM_Point

<定義>

道路境界標番号の文字列の位置。

<取得基準>

道路境界標番号の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。なお、表示する文字列の高さは縮尺1/500で表示した状態で、図上1.0mmとする。

取得位置 

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

道路境界標番号 : **CharacterString**

<定義>

折れ点を識別するための番号。

(例) 番号99の場合

入力値 : 99

<定義域>

地物が持ちえる名称とする。

文字列角度 : **Real**

<定義>

道路境界標番号の文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を0°とし、反時計回りの角度）で入力する。

<定義域>

0 以上 360 未満

図面番号 : **CharacterString**

<定義>

道路台帳区域線図1図葉の番号。大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。

(例) 大メッシュ番号 : 010、小メッシュ番号 : 40の場合

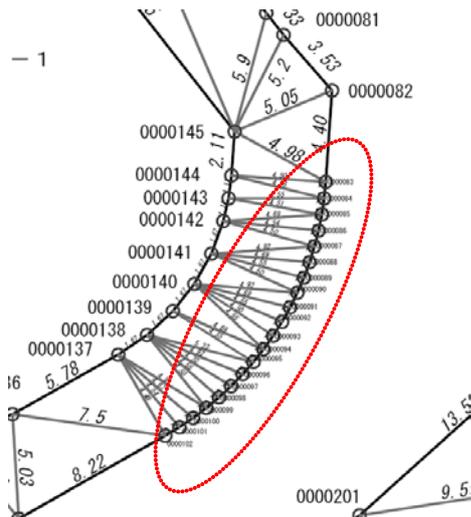
入力値 : 01040

<定義域>

地物が持ちえる値とする

道路境界標番号 (拡大)

道路境界標または図上点を識別するための番号を表す文字列。



※表示する文字列の高さ：縮尺 1/50 で表示した状態で、図上 2.0 mm

上位クラス：道路台帳区域線図データ

抽象/具象区分：具象

属性：

形状：GM_Point

<定義>

道路境界標番号の文字列の位置。

<取得基準>

道路境界標番号の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。なお、表示する文字列の高さは縮尺1/50で表示した状態で、図上2.0mmとする。

取得位置 

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

道路境界標番号：CharacterString

<定義>

折れ点を識別するための番号。

(例) 番号99の場合

入力値：99

<定義域>

地物が持ちえる名称とする。

文字列角度 : Real

<定義>

道路境界標番号の文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を0°とし、反時計回りの角度）で入力する。

<定義域>

0 以上 360 未満

図面番号 : CharacterString

<定義>

道路台帳区域線図1図葉の番号。大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。

(例) 大メッシュ番号 : 010、小メッシュ番号 : 40の場合

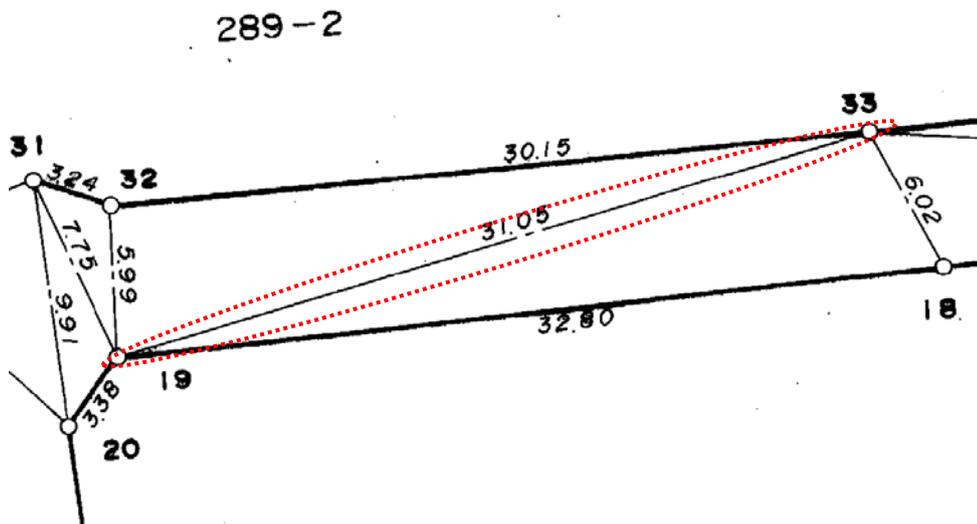
入力値 : 01040

<定義域>

地物が持ちえる名称とする

道路境界標間距離表示線

2つの道路境界標を結ぶ直線。



上位クラス : 道路台帳区域線図データ

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

形状 : GM_Curve

<定義>

2つの道路境界標または図上点を結ぶ直線の形状。

<取得基準>

2つの道路境界標または図上点を結ぶ直線を取得する。

GM_Curveの始点および終点の座標は、道路境界標または図上点の座標と一致しなければならない。また、道路境界標間距離表示線に中間点は存在してはならない。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

長さ : Real

<定義>

両端の道路境界標または図上点の座標値から算出した道路境界標間距離表示線の長さ。単位はメートルとし、小数第4位を切り捨て小数第3位を四捨五入した小数第2位までの値とする。

<定義域>

地物が持ちえる長さとする。

線番号 : CharacterString

<定義>

道路境界標間距離表示線と道路境界標間距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。

(例) 010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路区域線の場合

入力値 : 010400000099010410000100

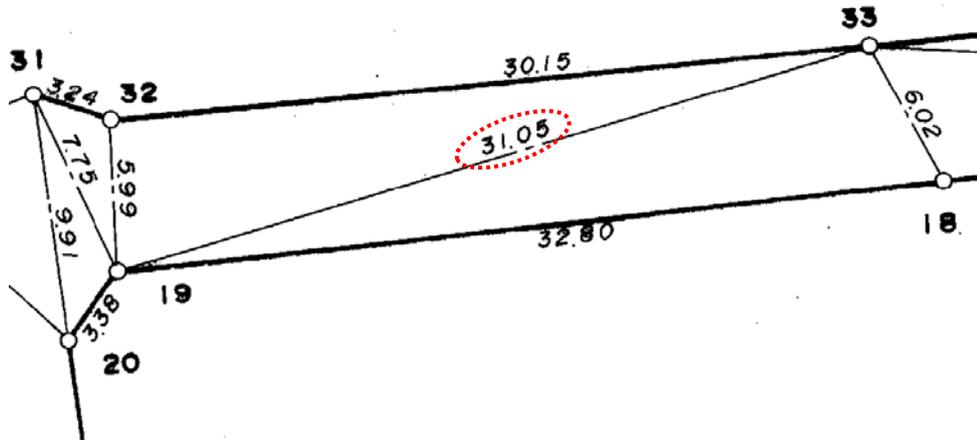
<定義域>

地物が持ちえる値とする。なおクラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない

道路境界標間距離

道路境界標間距離を表す文字列。

289-2



上位クラス：道路台帳区域線図データ

抽象/具象区分：具象

属性：

形状：GM_Point

<定義>

道路境界標間距離を表す文字列の位置。

<取得基準>

道路境界標間距離を表す文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。なお、表示する文字列の高さは縮尺1/500で表示した状態で、図上1.0mmとする。

取得位置 

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

表示文字：CharacterString

<定義>

道路境界標間距離を表す文字列。

<定義域>

地物が持ちえる内容とする。

文字列角度：Real

<定義>

道路境界標間距離を表す文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を0°とし、反時計回りの角度）で入力する。原則、区域線の傾き角度に合わせる。

<定義域>

0 以上 360 未満

線番号 : **CharacterString**

<定義>

道路境界標間距離表示線と道路境界標間距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。

(例) 010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路区域線の場合

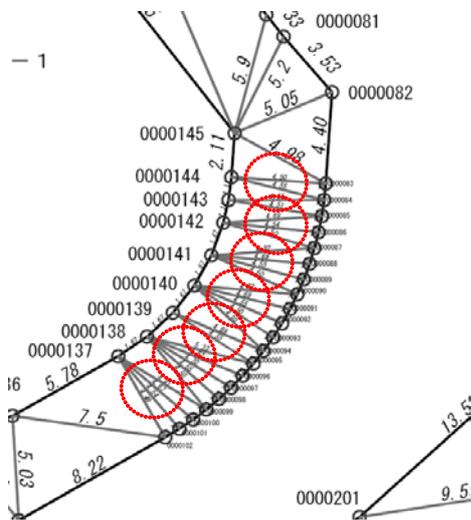
入力値 : 010400000099010410000100

<定義域>

地物が持ちえる値とする。なおクラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。

道路境界標間距離 (拡大)

道路境界標間距離を表す文字列。



※表示する文字列の高さ : 縮尺 1/50 で表示した状態で、図上 2.0 mm

上位クラス : 道路台帳区域線図データ

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

形状 : **GM_Point**

<定義>

道路境界標間距離を表す文字列の位置。

<取得基準>

道路境界標間距離を表す文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。なお、表示する文字列の高さは縮尺1/50で表示した状態で、図上2.0mmとする。



<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

表示文字 : **CharacterString**

<定義>

道路境界標間距離を表す文字列。

<定義域>

地物が持ちえる内容とする。

文字列角度 : **Real**

<定義>

道路境界標間距離を表す文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を0°とし、反時計回りの角度）で入力する。原則、区域線の傾き角度に合わせる。

<定義域>

0 以上 360 未満

線番号 : **CharacterString**

<定義>

道路境界標間距離表示線と道路境界標間距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。

(例) 010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路区域線の場合

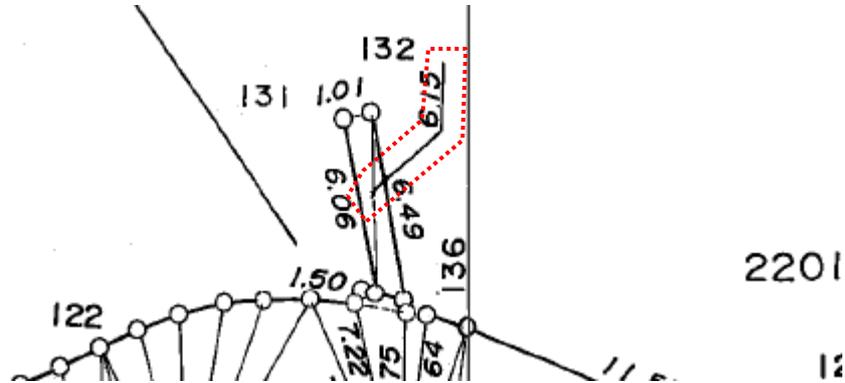
入力値 : 010400000099010410000100

<定義域>

地物が持ちえる値とする。なおクラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。

引出線

区域線距離、道路境界標間距離、道路境界標番号、注記等を偏心させて表示する場合に用いる引出線。



上位クラス：道路台帳区域線図データ

抽象/具象区分：具象

属性：

形状：GM_Curve

<定義>

引出線の形状。

<取得基準>

引出線の位置を取得する。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

線番号：CharacterString

<定義>

引出線と道路区域線もしくは道路境界標間距離表示線とを関連させるための番号。インスタンスと関連する道路区域線もしくは道路境界標間距離表示線の属性「線番号」の値とする。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。

(例) 010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路区域線の場合

入力値：010400000099010410000100

道路境界標番号の場合はNULLとする。

<定義域>

地物が持ちえる値とする。なおクラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。

属性：

形状：GM_Curve

<定義>

引出線の形状。

<取得基準>

引出線の位置を取得する。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

線番号：CharacterString

<定義>

引出線と道路区域線もしくは道路境界標間距離表示線とを関連させるための番号。インスタンスと関連する道路区域線もしくは道路境界標間距離表示線の属性「線番号」の値とする。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。

(例) 010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路区域線の場合

入力値：010400000099010410000100

道路境界標番号の場合はNULLとする。

<定義域>

地物が持ちえる値とする。なおクラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。

道路境界標番号：CharacterString

<定義>

引出線と道路境界標もしくは図上点、注記等とを関連させるための番号。インスタンスと関連する道路境界標もしくは図上点の属性「道路境界標番号」の値とする。注記の場合はNULLとする。

<定義域>

地物が持ちえる値とする。

図面番号：CharacterString

<定義>

道路台帳区域線図1図葉の番号。大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。

(例) 大メッシュ番号：010、小メッシュ番号：40の場合

入力値：01040

<定義域>

地物が持ちえる値とする。

区域界

道路と水路およびその他の境界を表す線分の集合。

上位クラス：道路台帳区域線図データ

抽象/具象区分：抽象

属性：

形状：GM_Curve

<定義>

道路と水路およびその他の境界の形状。

<取得基準>

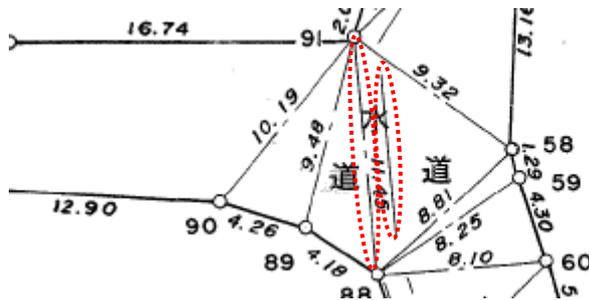
道路台帳区域線図に描画されている道路と水路およびその他の境界を取得する。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

道路・水路界

道路と水路の境界を表す線分。



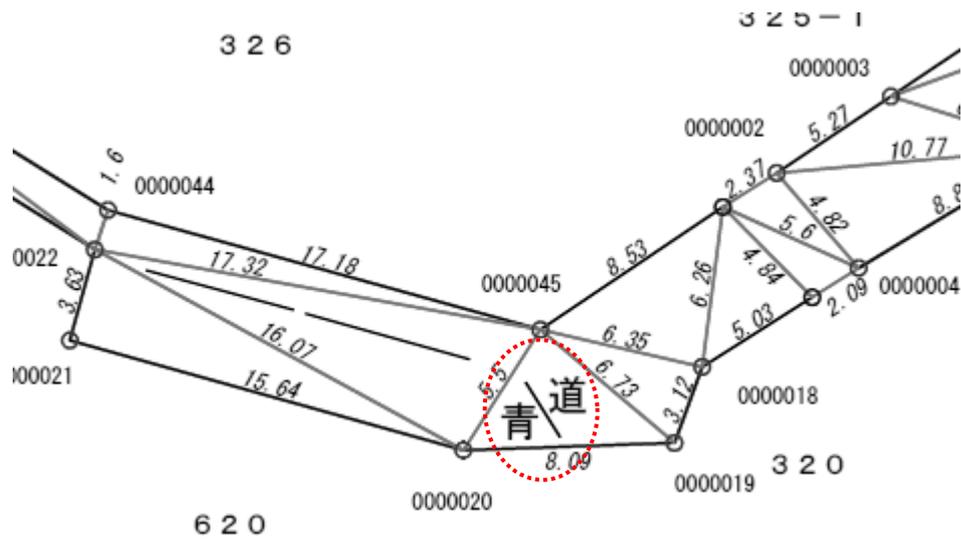
上位クラス：区域界

抽象/具象区分：具象

属性：

道路・青地界

道路と青地の境界を表す線分。



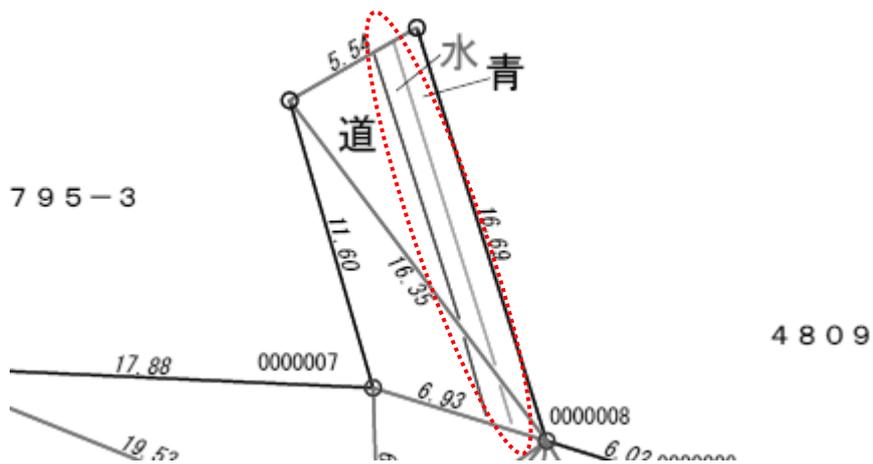
上位クラス：区域界

抽象/具象区分：具象

属性：

水路・青地界

水路と青地の境界を表す線分。



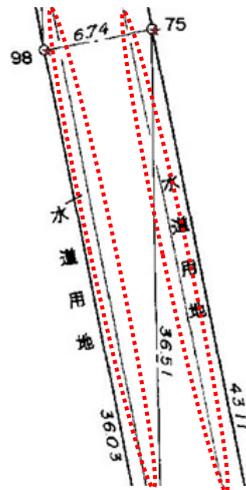
上位クラス：区域界

抽象/具象区分：具象

属性：

道路・水道用地界

道路と水道用地の境界を表す線分。



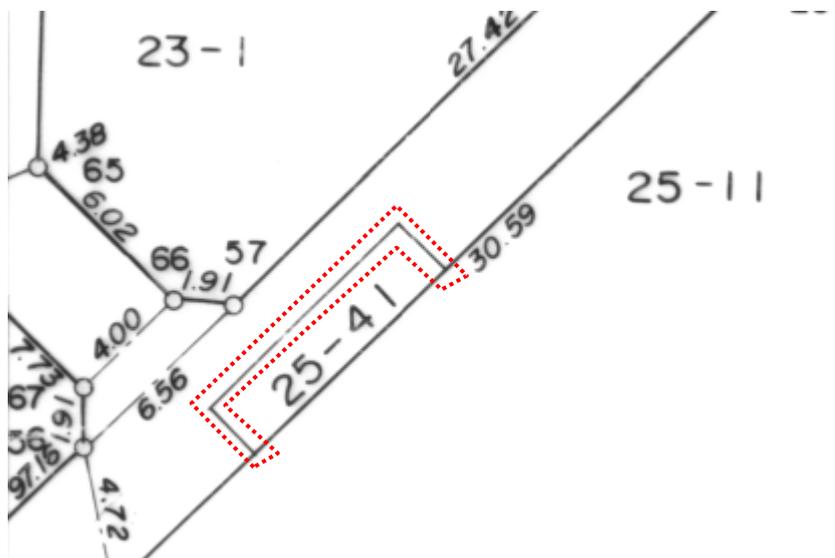
上位クラス：区域界

抽象/具象区分：具象

属性：

道路内民地界

道路内にある、道路と民地と境界を表す線分。



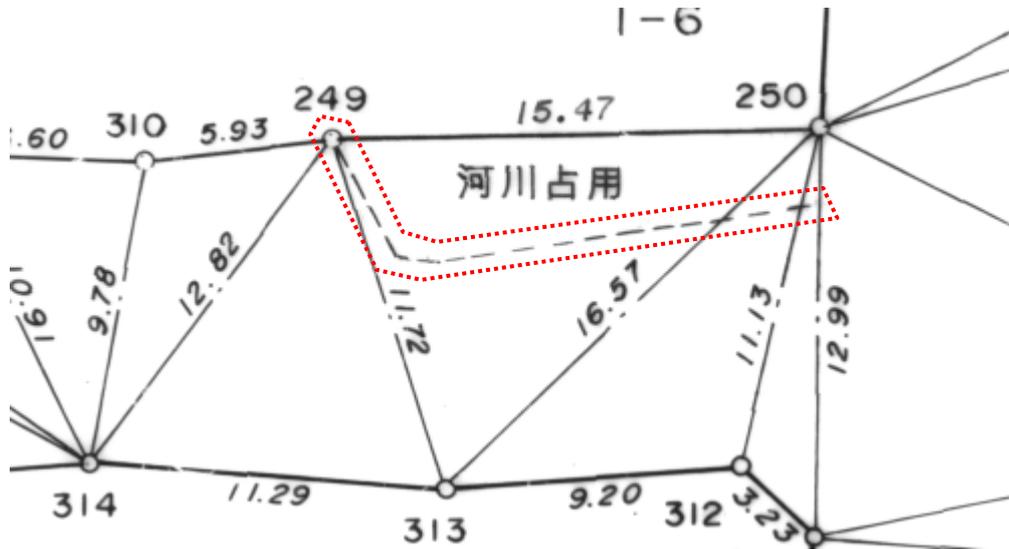
上位クラス：区域界

抽象/具象区分：具象

属性：

重複管理区域界

道路内にある、重複管理区域の境界を表す線分のうち、境界標、及び距離数値の記載がない線分。



上位クラス：区域界

抽象/具象区分：具象

属性：

その他境界

その他の境界を表す線分。

上位クラス：区域界

抽象/具象区分：具象

属性：

注記

道路台帳区域線図に表示する注記。

上位クラス：道路台帳区域線図データ

抽象/具象区分：抽象

属性：

形状：GM_Point

〈定義〉

注記文字列の位置。

〈取得基準〉

注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。

なお、表示する文字列の高さは個々のクラスの定義による。

取得位置 

ただし、区名、町丁目名については、横浜市都市計画基本図データから取得する。

〈定義域〉

地理範囲で示された範囲内であること。

表示文字：CharacterString

〈定義〉

注記の文字列。

〈定義域〉

地物が持ちえる内容とする。

文字列角度：Real

〈定義〉

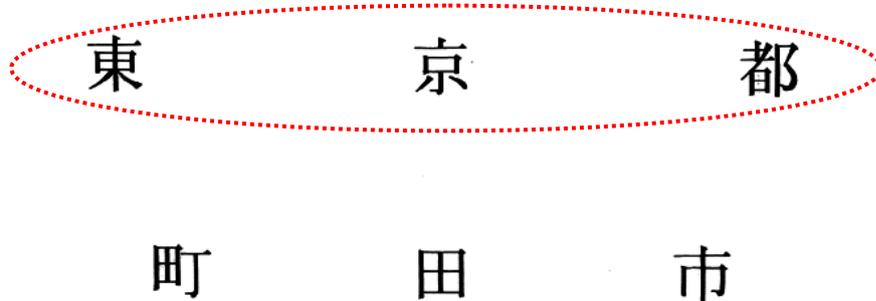
注記文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を0°とし、反時計回りの角度）で入力する。

〈定義域〉

0 以上 360 未満

都府県名

道路台帳区域線図に表示する注記のうちの都名。



※表示する文字列の高さ：縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 9 mm

※縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする

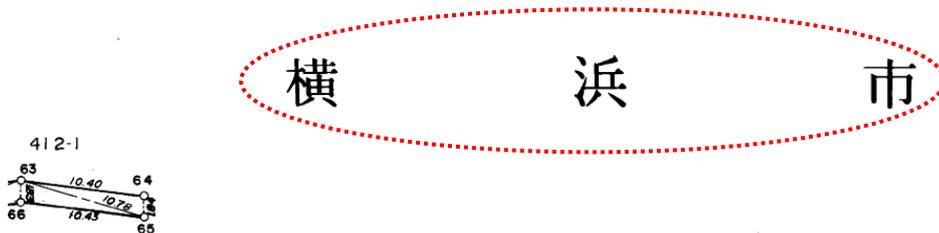
上位クラス：注記

抽象/具象区分：具象

属性：

市名

道路台帳区域線図に表示する注記のうちの市名。



※表示する文字列の高さ：縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 9 mm

※縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする

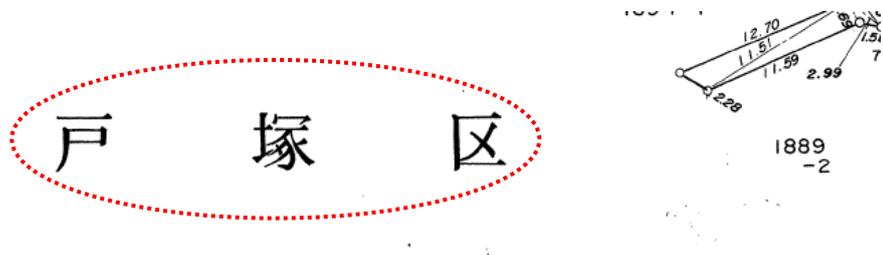
上位クラス：注記

抽象/具象区分：具象

属性：

区名

道路台帳区域線図に表示する注記のうちの区名。



※表示する文字列の高さ：縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 9 mm

※縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする

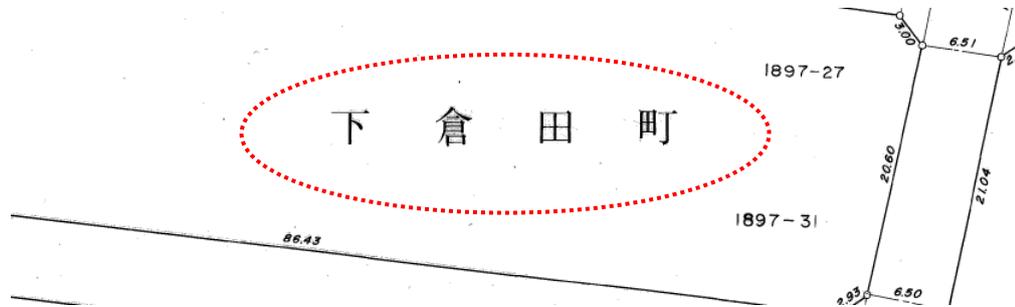
上位クラス：注記

抽象/具象区分：具象

属性：

町丁目名

道路台帳区域線図に表示する注記のうちの町丁目名。



※表示する文字列の高さ：縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 6 mm

※縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする

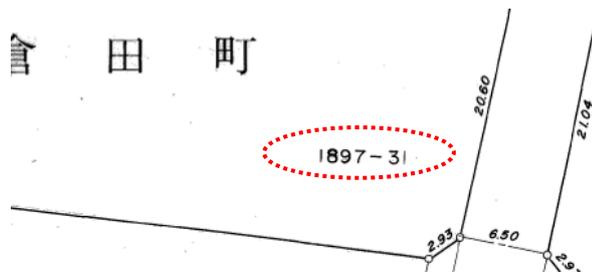
上位クラス：注記

抽象/具象区分：具象

属性：

地番

道路台帳区域線図に表示する注記のうちの地番。



※表示する文字列の高さ：縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 2 mm

※縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする

上位クラス：注記

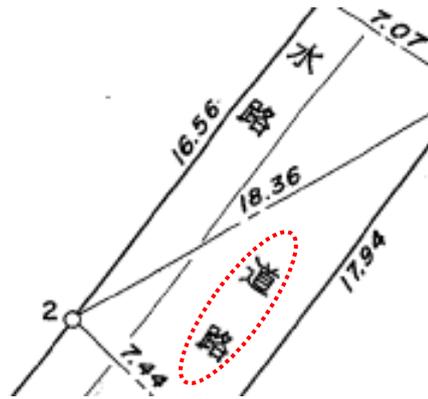
抽象/具象区分：具象

属性：

道路表記

道路台帳区域線図に表示する注記のうちの道路区域であることの表記。

5-34



※表示する文字列の高さ：縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mm

※縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする。

上位クラス：注記

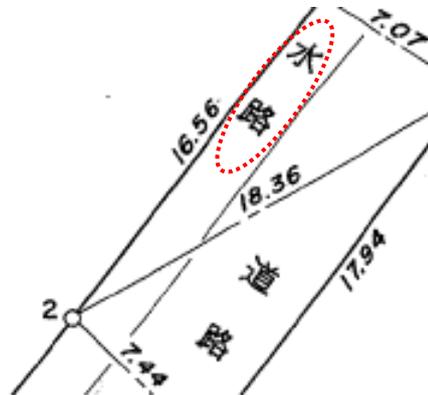
抽象/具象区分：具象

属性：

水路表記

道路台帳区域線図に表示する注記のうちの水路区域であることの表記。

5-34



※表示する文字列の高さ：縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mm

※縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする。

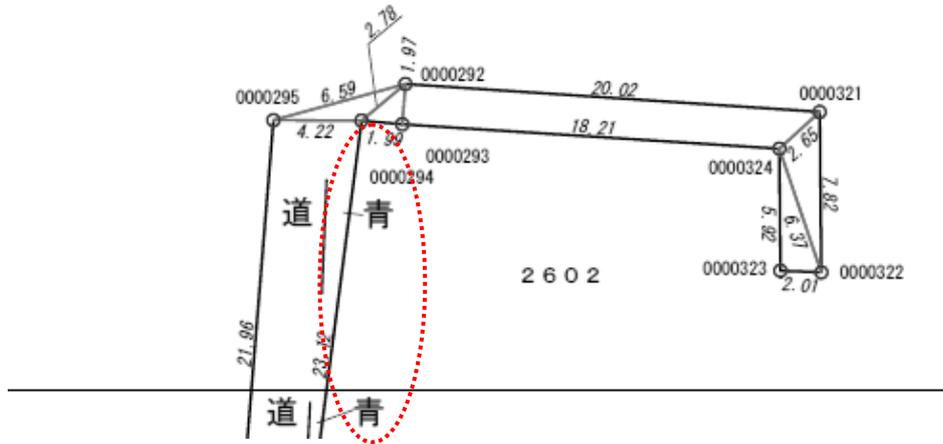
上位クラス：注記

抽象/具象区分：具象

属性：

青地表記

道路台帳区域線図に表示する注記のうち、青地域域であることの表記。



※表示する文字列の高さ：縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mm

※縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする。

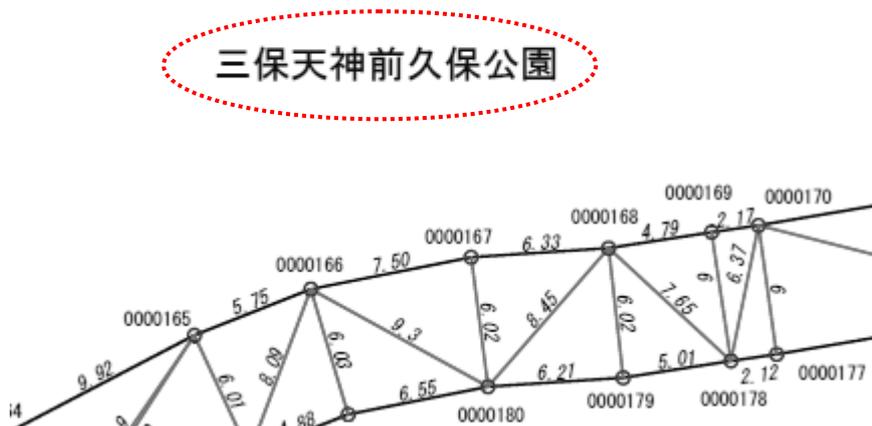
上位クラス：注記

抽象/具象区分：具象

属性：

施設表記

道路台帳区域線図に表示する注記のうち、施設であることの表記。



※表示する文字列の高さ：縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mm

※縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする

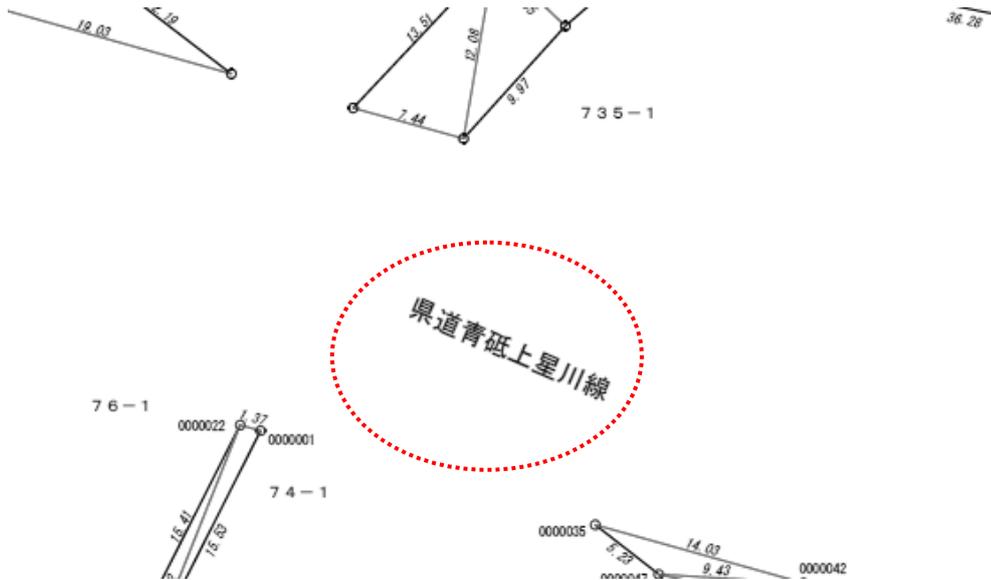
上位クラス：注記

抽象/具象区分：具象

属性：

道路の路線名

道路台帳区域線図に表示する注記のうち、道路の路線名称であることの表記。



※表示する文字列の高さ：縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3.5 mm

※縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする

上位クラス：注記

抽象/具象区分：具象

属性：

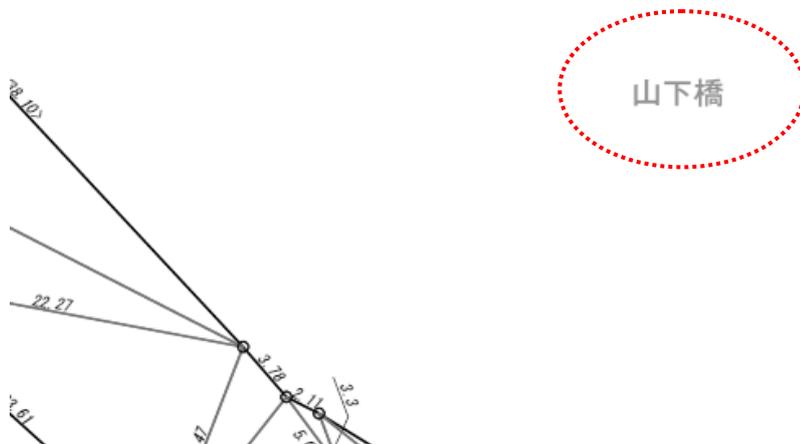
上位クラス：注記

抽象/具象区分：具象

属性：

橋梁表記

道路台帳区域線図に表示する注記のうち、橋梁名称であることの表記。



※表示する文字列の高さ：縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mm

※縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする

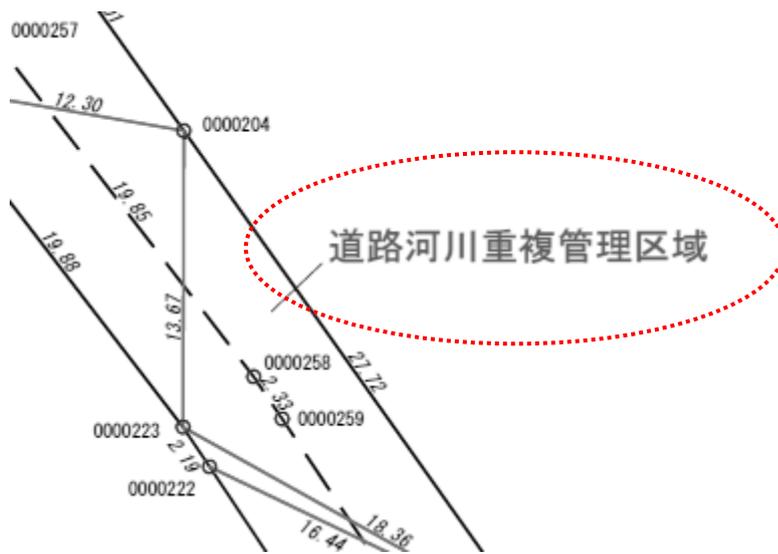
上位クラス：注記

抽象/具象区分：具象

属性：

重複管理区域

道路台帳区域線図に表示する注記のうち、重複管理区域であることの表記。



※表示する文字列の高さ：縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mm

※縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする

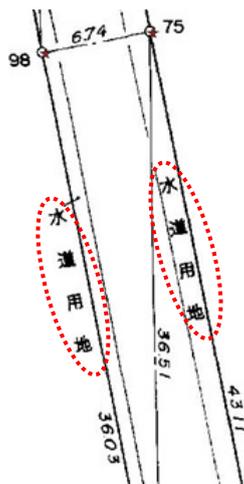
上位クラス：注記

抽象/具象区分：具象

属性：

水道用地表記

道路台帳区域線図に表示する注記のうちの水道用地であることの表記。



※表示する文字列の高さ：縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mm

※縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする。

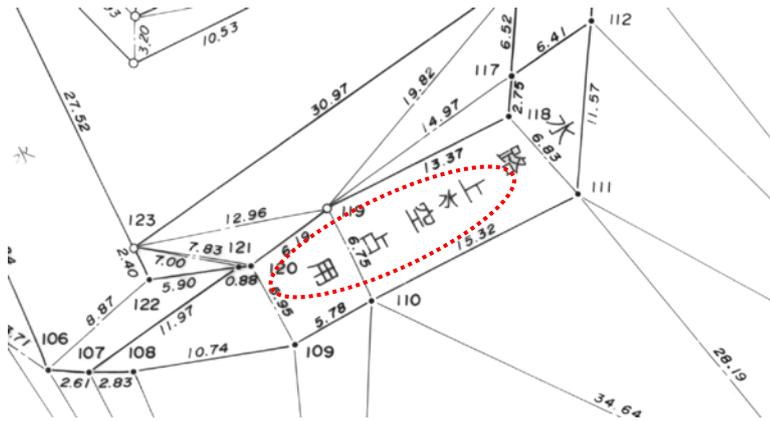
上位クラス：注記

抽象/具象区分：具象

属性：

上空占有区域

道路台帳区域線図に表示する注記のうちの上空占有区域であることの表記。



※表示する文字列の高さ：縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mm

※縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする。

上位クラス：注記

抽象/具象区分：具象

属性：

その他表記

道路台帳区域線図に表示する注記のうち、挙げられていないその他の表記。

上位クラス：注記

抽象/具象区分：具象

属性：

図郭

道路台帳図の図郭。ただし、道路台帳平面図の図郭と同一のものとする。

上位クラス：道路台帳区域線図データ

抽象/具象区分：抽象

属性：

形状：GM_Surface

〈定義〉

道路台帳図の図郭の範囲

〈取得基準〉

道路台帳図の図郭の範囲を取得する。

大図郭番号：CharacterString

〈定義〉

道路台帳図 1 図葉（大図郭）の大図郭番号。

（例）大図郭番号：10の場合 入力値：10

〈定義域〉

大図郭番号として持ちえる値

国土基本図図郭番号：CharacterString

〈定義〉

平面直角座標系に基づき区切られた図郭。

（例）9系LD531の場合、入力値：LD53-1

〈定義域〉

国土基本図の図郭割規則に従う図郭番号

大図郭名：CharacterString

〈定義〉

道路台帳図 1 図葉（大図郭）の名称

（例）大図郭名称：美しが丘西の場合、入力値：美しが丘西

〈定義域〉

大図郭名として設定されている名称

大図郭（旧座標）

道路台帳図の世界測地系への移行前に、日本測地系で作成されていた図郭（大図郭）。

上位クラス：図郭

抽象/具象区分：具象

属性 :

小図郭 (旧図郭)

道路台帳図の世界測地系への移行前に、日本測地系で作成されていた図郭 (小図郭)。

上位クラス : 図郭

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

小図郭番号 : **CharacterString**

<定義>

道路台帳図 1 図葉 (小図郭) の小図郭番号。

<定義域>

小図郭番号として持ちえる値

図郭番号 : **CharacterString**

<定義>

道路台帳図 1 図葉の番号。大図郭番号と小図郭番号で構成する。

(例) 大図郭番号 : 10、小図郭番号 : 40の場合 入力値 : 10-40

<定義域>

図郭番号として持ちえる値

大図郭 (新座標)

道路台帳図の世界測地系への移行後に、切り直した図郭 (大図郭)。

上位クラス : 図郭

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

小図郭 (新座標)

道路台帳図の世界測地系への移行後に、切り直した図郭 (小図郭)。

上位クラス : 図郭

抽象/具象区分：具象

属性：

小図郭番号：CharacterString

<定義>

道路台帳図1 図葉（小図郭）の小図郭番号。

<定義域>

小図郭番号として持ちえる値

図郭番号：CharacterString

<定義>

道路台帳図1 図葉の番号。大図郭番号と小図郭番号で構成する。

（例）大図郭番号：10、小図郭番号：40の場合 入力値：10-40

<定義域>

図郭番号として持ちえる値

4.2.2 区域線図滅失データパッケージ

区域線図滅失データ

区域線図滅失データを構成する地物。

上位クラス：なし

抽象/具象区分：抽象

属性：

データ有効期間（開始）：TM_Instant

<定義>

オブジェクトが存在しうる最初の年月日。

年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。

不明の場合は、2999-12-31 とする。

<定義域>

地物が持ちえる日付とする。

データ有効期間（終了）：TM_Instant

<定義>

オブジェクトが存在しうる最後の年月日。

年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。

不明の場合は、2999-12-31 とする。

<定義域>

地物が持ちえる日付とする。

滅失道路区域線

滅失した、道路法による道路の区域とその他の区域の境界線。

上位クラス：区域線図滅失データ

抽象/具象区分：具象

属性：

形状：GM_Curve

<定義>

道路の区域の境界線の形状。

<取得基準>

道路の区域の境界を直線で取得する。

GM_Curveの始点および終点の座標の値は、道路境界標または図上点の座標の値と一致しなければならない。また、道路区域線に中間点は存在してはならない。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

長さ：Real

<定義>

滅失時に区域線距離の属性「表示文字」で示されている長さ。単位はメートルとし、小数第2位までの値とする。

<定義域>

地物が持ちえる長さとする。

線番号：CharacterString

<定義>

道路区域線と区域線距離とを関連させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。

(例) 010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路区域線の場合

入力値：010400000099010410000100

<定義域>地物が持ちえる値とする。なお、クラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。

告示区分：告示区分 Code

<定義>

道路区域線が決定された告示区分の種別。

<定義域>

下のコード表より値を選択する。

告示区分	値
新設道路（横浜市）	1
道路敷	2
廃止道路	3
水路敷	4
新設道路（国道）	5
水路の所管替	6
廃止水路	7
青地	8
誤表示	9

滅失道路境界標

滅失した、道路法による道路の区域とその他の区域の境界を示す標識。

上位クラス：区域線図滅失データ

抽象/具象区分：抽象

属性：

形状：GM_Point

<定義>

道路の区域の境界を示す点。

<取得基準>

道路境界の座標値を取得する。

GM_Pointの座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

X座標：Real

<定義>

道路境界標の測量成果のX座標。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

Y座標：Real

<定義>

道路境界標の測量成果のY座標。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

事業種別：事業種別 Code

<定義>

道路境界標の滅失を行った事業の種別。

<定義域>

下のコード表より値を選択する。

事業種別	値
現況補正	1
境界調査	2
道路移管	3
国土調査	4
14条地区	5
誤表示	6
その他	99

杭種：杭種 Code

<定義>

道路境界標の種別。

<定義域>

下のコード表より値を選択する。

杭種	値
石	1
鋳物	2
プレート	3
鋳	4
刻	5
プラスチック杭	6
印・ペンキ	7
その他	99

管理者：管理者 Code

<定義>

道路境界標の管理者。

<定義域>

下のコード表より値を選択する。管理者不明の場合は、NULLとする。

管理者	値
横浜市	1
横浜市道路	2
横浜市河川	3
横浜市公園	4
横浜市下水	5
横浜市水道	6
横浜市交通	7
横浜市建築	8
横浜市学校	9
国土交通省	10
厚生労働省	11
総務省	12
防衛省	13
神奈川県	14
町田市	15
川崎市	16
鎌倉市	17
逗子市	18
藤沢市	19
大和市	20
横須賀市	21
東京電力	22
東京ガス	23
日本電信電話(NTT)	24
JR (JR東日本、JR東海、国鉄)	25
相模鉄道	26
東京急行	27
京浜急行	28
日本道路公団	29
東日本高速道路	30
中日本高速道路	31
首都高速道路	32
独立行政法人都市再生機構	33

管理者	値
市住宅供給公社	34
県住宅供給公社	35
区画整理等	36
行政界	37
国土調査	38
民間	99

告示日 : TM_Instant

<定義>

道路境界の告示年月日。

年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。

不明の場合は、NULLとする。

<定義域>

地物が持ちえる日付とする。

完了月日 : TM_Instant

<定義>

横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年月日。

年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。

不明の場合は、NULL とする。

<定義域>

地物が持ちえる日付とする。

補正番号 : CharacterString

<定義>

道路境界の補正番号。区名、年度（和暦）、通し番号（2桁）で構成する。年度と通し番号はハイフンで接続する。存在しない場合は、NULLとする。

（例）緑区、平成22年度、通し番号1の場合

入力値：緑22-01

<定義域>

地物が持ちえる値とする。

境界調査簿冊番号 : CharacterString

<定義>

道水路等境界調査の簿冊番号。区名、冊番、号番で構成する。存在しない場合は、NULLとする。

（例）緑区、1冊、1号の場合

入力値：緑区1冊1号

<定義域>

地物が持ちえる名称とする。

境界標調査決裁日 : TM_Instant

<定義>

道水路等境界標調査の決裁年月日。
年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。
不明の場合は、NULLとする。
<定義域>
地物が持ちえる日付とする。

図面番号 : CharacterString

<定義>
道路台帳区域線図1図葉の図郭番号。
大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。
(例) 大メッシュ番号 : 10、小メッシュ番号 : 40の場合
入力値 : 10-40
<定義域>
地物が持ちえる値とする。

滅失道路境界標 (公共座標)

滅失した、道路法による道路の区域とその他の区域の境界を示す標識のうち、公共測量成果を有するもの。

上位クラス : 滅失道路境界標

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

道路境界標番号 : CharacterString

<定義>
道路境界標を識別するための番号。番号は先頭0詰め7桁とする。
(例) 番号99の場合
入力値 : 0000099
<定義域>
地物が持ちえる名称とする。

入力年度 : CharacterString

<定義>
横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年度。年度は和暦で記述する。
(例) 昭和63年度の場合
入力値 : 昭和63年度 (年度の値は半角数字とする)
<定義域>
地物が持ちえる年度とする。

新図郭：CharacterString

<定義>

道路台帳区域線図1図葉の新図郭番号。

大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。

(例) 大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40の場合

入力値：10-40

<定義域>

地物が持ちえる値とする。

滅失道路境界標（任意座標）

滅失した、道路法による道路の区域とその他の区域の境界を示す標識のうち、公共測量成果を有さない任意座標のもの。

上位クラス：滅失道路境界標

抽象/具象区分：具象

属性：

点番号：CharacterString

<定義>

道路境界標を識別するための番号。番号は先頭0詰め7桁とし、頭にNを付与する。

(例) 番号99の場合

入力値：N0000099

<定義域>

地物が持ちえる値とする。なお、クラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。

滅失図上点

滅失した、道路法による道路の区域とその他の区域の境界線の折れ点のうち、測量計算により求められたもの。道路境界標は設置されていない。

上位クラス：区域線図滅失データ

抽象/具象区分：抽象

属性：

形状：GM_Point

<定義>

道路の区域の境界を示す点。

<取得基準>

図上点の座標値を取得する。

GM_Pointの座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

X座標：Real

<定義>

図上点の測量成果のX座標。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

Y座標：Real

<定義>

図上点の測量成果のY座標。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

事業種別：事業種別 Code

<定義>

道路境界標の滅失を行った事業の種別。

<定義域>

下のコード表より値を選択する。

事業種別	値
現況補正	1
境界調査	2
道路移管	3
国土調査	4
14条地区	5
誤表示	6
その他	99

管理者：管理者 Code

<定義>

道路境界標の管理者。

<定義域>

下のコード表より値を選択する。管理者不明の場合は、NULLとする。

管理者	値
横浜市	1
横浜市道路	2
横浜市河川	3
横浜市公園	4
横浜市下水	5

管理者	値
横浜市水道	6
横浜市交通	7
横浜市建築	8
横浜市学校	9
国土交通省	10
厚生労働省	11
総務省	12
防衛省	13
神奈川県	14
町田市	15
川崎市	16
鎌倉市	17
逗子市	18
藤沢市	19
大和市	20
横須賀市	21
東京電力	22
東京ガス	23
日本電信電話(NTT)	24
JR (JR東日本、JR東海、国鉄)	25
相模鉄道	26
東京急行	27
京浜急行	28
日本道路公団	29
東日本高速道路	30
中日本高速道路	31
首都高速道路	32
独立行政法人都市再生機構	33
市住宅供給公社	34
県住宅供給公社	35
区画整理等	36
行政界	37
国土調査	38
民間	99

告示日 : TM_Instant

<定義>

道路境界の告示年月日。

年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。

不明の場合は、NULLとする。

<定義域>

地物が持ちえる日付とする。

完了月日 : TM_Instant

<定義>

横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年月日。

年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。

不明の場合は、NULL とする。

<定義域>

地物が持ちえる日付とする。

補正番号 : CharacterString

<定義>

道路境界の補正番号。区名、年度（和暦）、通し番号（2桁）で構成する。年度と通し番号はハイフンで接続する。存在しない場合は、NULLとする。

（例）緑区、平成22年度、通し番号1の場合

入力値：緑22-01

<定義域>

地物が持ちえる値とする。

境界調査簿冊番号 : CharacterString

<定義>

道水路等境界調査の簿冊番号。区名、冊番、号番で構成する。存在しない場合は、NULLとする。

（例）緑区、1冊、1号の場合

入力値：緑区1冊1号

<定義域>

地物が持ちえる名称とする。

境界標調査決裁日 : TM_Instant

<定義>

道水路等境界標調査の決裁年月日。

年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。

不明の場合は、NULLとする。

<定義域>

地物が持ちえる日付とする。

図面番号 : CharacterString

<定義>

道路台帳区域線図1図葉の番号。大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。

（例）大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40の場合

入力値：10-40

<定義域>

地物が持ちえる値とする。

滅失図上点（公共座標）

滅失した、道路法による道路の区域とその他の区域の境界線の折れ点のうち、測量計算により求められたもの。道路境界標は設置されていない。公共測量成果を有する。

上位クラス：滅失図上点

抽象/具象区分：具象

属性：

道路境界標番号：CharacterString

<定義>

折れ点を識別するための番号。番号は先頭0詰め7桁とする。

(例) 番号99の場合

入力値：0000099

<定義域>

地物が持ちえる名称とする。

入力年度：CharacterString

<定義>

横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年度。年度は和暦で記述する。

(例) 昭和63年度の場合

入力値：昭和63年度 (年度の値は半角数字とする)

<定義域>

地物が持ちえる年度とする。

新図郭：CharacterString

<定義>

道路台帳区域線図1図葉の新図郭番号。

大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。

(例) 大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40の場合

入力値：10-40

<定義域>

地物が持ちえる値とする。

滅失図上点 (任意座標)

滅失した、道路法による道路の区域とその他の区域の境界線の折れ点のうち、公共測量座標を有さない任意座標のもの。道路境界標は設置されていない。

上位クラス：滅失図上点

抽象/具象区分：具象

属性：

点番号：CharacterString

<定義>

折れ点を識別するための番号。番号は先頭0詰め7桁とし、頭にNを付与する。

(例) 番号99の場合

入力値：N0000099

<定義域>

地物が持ちえる値とする。なお、クラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。

滅失道路境界標間距離表示線

滅失した、2つの道路境界標を結ぶ直線。

上位クラス：区域線図滅失データ

抽象/具象区分：具象

属性：

形状：GM_Curve

<定義>

2つの道路境界標または図上点を結ぶ直線の形状。

<取得基準>

2つの道路境界標または図上点を結ぶ直線を取得する。

GM_Curveの始点および終点の座標は、道路境界標または図上点の座標と一致しなければならない。また、道路境界標間距離表示線に中間点は存在してはならない。

<定義域>

地理範囲で示された範囲内であること。

長さ：Real

<定義>

滅失時の区域線距離の属性「表示文字」で示される長さ。単位はメートルとし、小数第4位を切り捨て小数第3位を四捨五入した小数第2位までの値とする。

<定義域>

地物が持ちえる長さとする。

線番号：CharacterString

<定義>

道路境界標間距離表示線と道路境界標間距離とを関連させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。

(例) 010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路境界標間距離表示線の場合

入力値：010400000099010410000100

<定義域>

地物が持ちえる値とする。なお、クラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。

告示区分：告示区分 Code

<定義>

道路区域線が決定された告示区分の種別。

<定義域>

下のコード表より値を選択する。

告示区分	値
新設道路（横浜市）	1
道路敷	2
廃止道路	3
水路敷	4
新設道路（国道）	5
水路の所管替	6
廃止水路	7
青地	8
誤表示	9

4.3 空間スキーマ

空間スキーマプロファイルは、地理情報標準プロファイル (JPGIS) 2014 空間スキーマを採用する。

4.4 時間スキーマ

時間スキーマプロファイルは、地理情報標準プロファイル (JPGIS) 2014 時間スキーマを採用する。

5 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子	別名	説明
JGD2011 / 9(X, Y)	日本測地系 2011 / (平面直角座標系第IX系 X 座標, 平面直角座標系 第IX系 Y 座標)	水平座標系は, 日本測地系 2011 に 基づく経緯度で表される座標参照 系。平面直角座標系の定義は平成 14年1月10日国土交通省告示第9 号による。

5.2 時間参照系

参照系識別子	別名	説明
GC /JST	グレゴリオ暦/日本標準 時	ユリウス暦よりも1年の長さが太 陽年により近くなるよう定義する ため, 1582年に最初に導入され た, 汎用的な暦(JIS X 7108) 東経百三十五度ノ子午線ノ時 (明 治19年7月13日勅令第51号)

6 データ品質

6.1 品質要求

道路台帳区域線図データの品質を表示するための標準的なデータ品質要求を示す。

6.1.1 データ品質要素：完全性

データ品質 副要素	データ品質 適用範囲	データ品質評価尺度	
		定義	適合品質水準
過剰	全地物	データ集合中の過剰データがないか。	誤率:0%
漏れ	全地物	データ集合からのデータの欠落がないか。	誤率:0%

6.1.2 データ品質要素：論理一貫性

データ品質 副要素	データ品質 適用範囲	データ品質評価尺度	
		定義	適合品質水準
書式一貫性	全地物	データ集合のファイル形式が Shape の仕様に適合しているか。	書式一貫性のエラーの割合：0%
概念一貫性	全地物	応用スキーマの定義を逸脱した地物がないか。	概念一貫性のエラーの割合：0%
定義域一貫性	全地物	地物属性の値が、定義域外の値がないか。	定義域一貫性のエラーの割合：0%
位相 一貫性	ねじれ・交差	空間属性が GM_Surface、GM_Curve の地物	位相一貫性のエラーの割合：0%
	重複	全地物	

6.1.3 データ品質要素：位置正確度

データ品質 副要素	データ品質 適用範囲	データ品質評価尺度	
		定義	適合品質水準
絶対正確度	道路境界標（公共座標）、図上点（公共座標）	<p>データ集合内の位置の座標と、より正確度の高い参照データの座標との誤差（平均二乗誤差：RMSE）が閾値を越えていないか。</p> $RMSE = \sqrt{\left(\frac{1}{n-1}\right) \sum ((x_i - X_i)^2 + (y_i - Y_i)^2)}$ <p> x_i：データ集合内の検査対象のデータの位置の X 座標 y_i：データ集合内の検査対象のデータの位置の Y 座標 X_i：より正確度の高いデータの位置の X 座標 Y_i：より正確度の高いデータの位置の Y 座標 n：全数 </p>	座標成果との標準偏差：0m
内部正確度	道路区域線、道路境界標間距離表示線、道路境界標、図上点 滅失道路区域線、滅失道路境界標間距離表示線、滅失道路境界標、滅失図上点	道路区域線および道路境界標間距離表示線の始点および終点の位置と道路境界標、図上点の位置が合致しているか。 また、滅失道路区域線、滅失道路境界標間距離表示線の始点および終点の位置と滅失道路境界標、滅失図上点の位置が合致しているか。	合致率：100%
グリッドデータ位置正確度	—	—	—

6.1.4 データ品質要素：時間正確度

データ品質 副要素	データ品質 適用範囲	データ品質評価尺度	
		定義	適合品質水準
時間測定正確度	道路境界標、図上点、滅失道	告示日および完了月日ともに、記録された日付に誤りがない	誤率：0%（抜取資料に対して）

	路境界標、滅失図上点	か。	
時間一貫性	全地物	データ有効期間（開始）の値がデータ有効期間（終了）の値より大きくはないか。	(データ有効期間（開始）の値) > (データ有効期間（終了）の値) の関係にあるインスタンス数 0 (抜取資料に対して)
時間妥当性	—	—	—

6.1.5 データ品質要素：主題正確度

データ品質 副要素	データ品質 適用範囲	データ品質評価尺度	
		定義	適合品質水準
分類の正しさ	全地物	地物の分類（種別）に誤りがないか。	誤率:0%（抜取資料に対して）
非定量的主題属性の 正しさ	全地物	主題属性のうち、文字（列）や符号（コード）のように大小 関係を持たない属性に誤りがないか。	誤率:0%（抜取資料に対して）
定量的主題属性の正 確度	全地物	主題属性のうち、大小関係をもつ属性（定量的属性）に誤り がないか。	誤率:0%（抜取資料に対して）

6.2 品質評価手順

6.2.1 データ品質要素：完全性

データ品質 副要素	データ品質 適用範囲	データ品質評価手法	
		検査の種類	手順
過剰	全地物（道路境界標、滅失道路境界標、図上点、滅失図上点を除く）	抜取検査	データ集合の地物の員数を、真値とみなす現地または資料と比較し、過剰を評価する。現地検査については、地物の員数を正確に確認できる資料があれば、それを代用してよい。評価対象は、データ作成延長の1%とし、単純無作為抽出法により決定する。ただし、最低0.25 kmを対象とする。
	道路境界標、滅失道路境界標、図上点、滅失図上点	全数検査	データ集合の地物の員数を、真値とみなす現地または資料と比較し、過剰を評価する。現地検査については、地物の員数を正確に確認できる資料があれば、それを代用してよい。評価対象は、全数とする。
漏れ	全地物（道路境界標、滅失道路境界標、図上点、滅失図上点を除く）	抜取検査	データ集合の地物の員数を、真値とみなす現地または資料と比較し、過剰を評価する。現地検査については、地物の員数を正確に確認できる資料があれば、それを代用してよい。評価対象は、データ作成延長の1%とし、単純無作為抽出法により決定する。ただし、最低0.25 kmを対象とする。
	道路境界標、滅失道路境界標、図上点、滅失図上点	全数検査	データ集合の地物の員数を、真値とみなす現地または資料と比較し、過剰を評価する。現地検査については、地物の員数を正確に確認できる資料があれば、それを代用してよい。評価対象は、全数とする。

6.2.2 データ品質要素：論理一貫性

データ品質 副要素		データ品質 適用範囲	データ品質評価手法	
			検査の種類	手順
書式一貫性		全地物	全数検査	データ集合のファイル書式が、地物要件定義書で規定されている書式（Shape 形式）に適合しているか、ArcGIS9.0、9.1 に読み込み検査する。
概念一貫性		全地物	全数検査	シェープファイルの属性名について、定義ファイルに基づいて検査する。 各シェープファイルの属性を記述したファイル(dbf)をマイクロソフト社製の Access 等で開き検査する。
定義域一貫性		全地物	全数検査	論理検査プログラム等によって、主題属性の定義域及び地物の地理的範囲、時間範囲が定義域の中にあるか検査する。
位相 一貫性	ねじれ・交差	空間属性が GM_Surface、GM_Curve の地物	全数検査	論理検査プログラム等によって、構成する要素内で自己交差、ねじれの有無を検査する。
	重複	全地物	全数検査	論理検査プログラム等によって、単独の地物において、構成する要素同士での重複の有無を検査する。

6.2.3 データ品質要素：位置正確度

データ品質 副要素	データ品質 適用範囲	データ品質評価手法	
		検査の種類	手順
絶対正確度	道路境界標（公共座標）、図上点（公共座標）	全数検査	データ集合内の位置の座標と、より正確度の高い参照データの座標との平均二乗誤差（RMSE）を計算し、検査する。
内部正確度	道路区域線、道路境界標間距離表示線、道路境界標、図上点 滅失道路区域線、滅失道路境界標間距離表示線、滅失道路境界標、滅失図上点	全数検査	プログラム等によって、道路区域線、道路境界標間距離表示線、滅失道路区域線、滅失道路境界標間距離表示線の始点および終点の位置と道路境界標、図上点、滅失道路境界標、滅失図上点の位置の誤差を計算し、位置が合致しない割合を検査する。
グリッドデータ位置 正確度	—	—	—

6.2.4 データ品質要素：時間正確度

データ品質 副要素	データ品質 適用範囲	データ品質評価手法	
		検査の種類	手順
時間測定正確度	道路境界標（公共座標）	抜取検査	データ集合の時間属性を、真値とみなす資料と比較し、評価する。評価対象は、データ作成期間（時間範囲）の1%とする。
時間一貫性	全地物	抜取検査	論理検査プログラム等によって、データ有効期間（開始）とデータ有効期間（終了）の値を比較し、（データ有効期間（開始）の値）>（データ有効期間（終了）の値）の関係にあるインスタンスを数える。
時間妥当性	—	—	—

6.2.5 データ品質要素：主題正確度

データ品質 副要素	データ品質 適用範囲	データ品質評価手法	
		検査の種類	手順
分類の正しさ	全地物	抜取検査	地物の分類（種別）を、真値とみなす現地または資料と比較し、分類の正確性を評価する。評価対象は、データ作成延長の1%とし、単純無作為抽出法により決定する。ただし、最低0.25kmを対象とする。
非定量的主題属性の 正しさ	全地物	抜取検査	データ集合の地物の当該属性を、真値とみなす資料または現地と比較し、正確性を評価する。評価対象は、データ作成延長の1%とし、単純無作為抽出法により決定する。ただし、最低0.25kmを対象とする。
定量的主題属性の正 確度	全地物	抜取検査	データ集合の地物の当該属性を、真値とみなす資料または現地と比較し、正確度を評価する。評価対象は、データ作成延長の1%とし、単純無作為抽出法により決定する。ただし、最低0.25kmを対象とする。

7 データ製品配布

本製品仕様書に基づく横浜市道路台帳区域線図データの配布書式および配布媒体、ファイル名規則、属性値データファイル (dbf ファイル) のフィールド名規則は次のとおりとする。

7.1 配布書式情報

書式名称：空間属性はシェープファイルのメインファイル (*.shp) とし、その他の属性はシェープファイルの属性ファイル (*.dbf) とする。

符号化規則：シェープファイルの技術情報 (ESRI ジャパン株式会社)

言語：データ集合で使用する言語は、「日本語」とする。

7.2 配布媒体情報

単位：横浜市

媒体名：CD-R または DVD-R

7.3 ファイル名規則

地物名称	ファイル名
道路区域線	Dourokuikisen
道路区域線 (重複管理)	Dourokuikisen(Choufuku)
道路区域線 (未確定)	Dourokuikisen(Mikakutei)
区域線距離	Kuikisenkyori
区域線距離 (拡大)	Kuikisenkyori(Kakudai)
区域線距離 (重複管理)	Kuikisenkyori(Choufuku)
道路境界標 (公共座標)	Dourokyoukaihyou(Koukyouzahyou)
道路境界標 (任意座標)	Dourokyoukaihyou(Ninizahyou)
図上点 (公共座標)	Zujyouten(Koukyouzahyou)
図上点 (任意座標)	Zujyouten(Ninizahyou)
道路境界標番号	Dourokyoukaihyou_bangou
道路境界標番号 (拡大)	Dourokyoukaihyou_bangou(Kakudai)
道路境界標間距離表示線	Dourokyoukaihyoukankyori_hyoujisen
道路境界標間距離	Dourokyoukaihyoukankyori
道路境界標間距離 (拡大)	Dourokyoukaihyoukankyori(Kakudai)
引出線	Hikidashisen
引出線 (拡大)	Hikidashisen(Kakudai)
道路・水路界	Douro_Suiro_kai
道路・青地界	Douro_Aochi_kai
水路・青地界	Suiro_Aochi_kai

地物名称	ファイル名
道路・水道用地界	Douro_Suidou_kai
道路内民地界	Douronai_Minchi_kai
重複管理区域界	ChoufukuKanriKuiki_kai
その他境界	Sonota_kai
都府県名	Tofuken_mei
市名	Shi_mei
区名	Ku_mei
町丁目名	Chouchoumoku_mei
地番	Chiban
道路表記	Douro_hyouki
水路表記	Suiro_hyouki
青地表記	Aochi_hyouki
施設表記	Shisetsu_hyouki
道路の路線名	Douro_rosenmei
鉄道の路線名	Tetsudou_rosenmei
河川表記	Kasen_hyouki
橋梁表記	Kyouryou_hyouki
重複管理区域	Choufukukanrikuiki
水道用地表記	Suidou_hyouki
上空占有区域	ZyoukuuSenyoukuiki
その他表記	Sonota_hyouki
大図郭（旧座標）	Kyuzukaku_L
小図郭（旧座標）	Kyuzukaku_S
大図郭（新座標）	Shinzukaku_L
小図郭（新座標）	Shinzukaku_S
滅失道路区域線	MesshitsuDourokuikisen
滅失道路境界標（公共座標）	MesshitsuDourokyoukaihyou(Koukyouzahyou)
滅失道路境界標（任意座標）	MesshitsuDourokyoukaihyou(Ninizahyou)
滅失図上点（公共座標）	MesshitsuZujyouten(Koukyouzahyou)
滅失図上点（任意座標）	MesshitsuZujyouten(Ninizahyou)
滅失道路境界標間距離表示線	MesshitsuDourokyoukaihyoukankyori_hyoujisen

7.4 dbfファイルのフィールド名規則

地物名称	属性名称	フィールド名	データ型	備考
道路区域線	データ有効期間（開始）	span_START	文字	
	データ有効期間（終了）	span_END	文字	
	長さ	length	数値	小数第2位
	線番号	line_NO	文字	
	告示区分	kokujiKIND	文字	コードリストより選択
道路区域線（重複管理）	データ有効期間（開始）	span_START	文字	
	データ有効期間（終了）	span_END	文字	
	長さ	length	数値	小数第2位
	線番号	line_NO	文字	
	告示区分	kokujiKIND	文字	コードリストより選択
道路区域線（未確定）	データ有効期間（開始）	span_START	文字	
	データ有効期間（終了）	span_END	文字	
	長さ	length	数値	小数第2位
	線番号	line_NO	文字	
	告示区分	kokujiKIND	文字	コードリストより選択
区域線距離	データ有効期間（開始）	span_START	文字	

地物名称	属性名称	フィールド名	データ型	備考
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	数値	小数第3位
	線番号	line_NO	文字	
区域線距離 (拡大)	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	数値	小数第3位
	線番号	line_NO	文字	
区域線距離 (重複管理)	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	数値	小数第3位
	線番号	line_NO	文字	
道路境界標 (公共座標)	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
	X座標	coord_X	実数	小数第3位
	Y座標	coord_Y	実数	小数第3位
	事業種別	jigyo_KIND	文字	コードリストより選択
	杭種	kui_KIND	文字	コードリストより選択
	管理者	admin	文字	コードリストより選択
	告示日	kokuji_DAY	文字	
	完了月日	kanryo_MD	文字	
	補正番号	hosei_NO	文字	
	境界調査簿冊番号	chosabo_NO	文字	
	境界調査決裁日	kessai_DAY	文字	
	図面番号	mapno	文字	
	道路境界標番号	hyou_NO	文字	
	入力年度	input_Year	文字	
	新図郭	mapno_new	文字	
	道路境界標 (任意座標)	データ有効期間 (開始)	span_START	文字
データ有効期間 (終了)		span_END	文字	
X座標		coord_X	実数	小数第3位
Y座標		coord_Y	実数	小数第3位
事業種別		jigyo_KIND	文字	コードリストより選択
杭種		kui_KIND	文字	コードリストより選択
管理者		admin	文字	コードリストより選択
告示日		kokuji_DAY	文字	
完了月日		kanryo_MD	文字	
補正番号		hosei_NO	文字	
境界調査簿冊番号		chosabo_NO	文字	
境界調査決裁日		kessai_DAY	文字	
図面番号		mapno	文字	
点番号		point_NO	文字	
図上点 (公共座標)		データ有効期間 (開始)	span_START	文字
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
	X座標	coord_X	実数	小数第3位
	Y座標	coord_Y	実数	小数第3位
	事業種別	jigyo_KIND	文字	コードリストより選択
	管理者	admin	文字	コードリストより選択
	告示日	kokuji_DAY	文字	

地物名称	属性名称	フィールド名	データ型	備考
	完了月日	kanryo_MD	文字	
	補正番号	hosei_NO	文字	
	境界調査簿冊番号	chosabo_NO	文字	
	境界調査決裁日	kessai_DAY	文字	
	図面番号	mapno	文字	
	道路境界標番号	hyou_NO	文字	
	入力年度	input_Year	文字	
	新図郭	mapno_new	文字	
図上点(任意座標)	データ有効期間(開始)	span_START	文字	
	データ有効期間(終了)	span_END	文字	
	X座標	coord_X	実数	小数第3位
	Y座標	coord_Y	実数	小数第3位
	事業種別	jigyo_KIND	文字	コードリストより選択
	管理者	admin	文字	コードリストより選択
	告示日	kokuji_DAY	文字	
	完了月日	kanryo_MD	文字	
	補正番号	hosei_NO	文字	
	境界調査簿冊番号	chosabo_NO	文字	
	境界調査決裁日	kessai_DAY	文字	
	図面番号	mapno	文字	
	点番号	point_NO	文字	
	道路境界標番号	データ有効期間(開始)	span_START	文字
データ有効期間(終了)		span_END	文字	
道路境界標番号		hyou_NO	文字	
文字列角度		moji_ANGL	実数	小数第3位
図面番号		mapno	文字	
道路境界標番号(拡大)	データ有効期間(開始)	span_START	文字	
	データ有効期間(終了)	span_END	文字	
	道路境界標番号	hyou_NO	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	実数	倍精度浮動小数点型
	図面番号	mapno	文字	
道路境界標間距離表示線	データ有効期間(開始)	Span_START	文字	
	データ有効期間(終了)	Span_END	文字	
	長さ	length	数値	小数第2位
	線番号	line_NO	文字	
道路境界標間距離	データ有効期間(開始)	span_START	文字	
	データ有効期間(終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	実数	小数第3位
	線番号	line_NO	文字	
道路境界標間距離(拡大)	データ有効期間(開始)	span_START	文字	
	データ有効期間(終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	実数	小数第3位
	線番号	line_NO	文字	
引出線	データ有効期間(開始)	span_START	文字	
	データ有効期間(終了)	span_END	文字	
	線番号	line_NO	文字	
	道路境界標番号	hyou_NO	文字	
	図面番号	mapno	文字	
引出線(拡大)	データ有効期間(開始)	span_START	文字	
	データ有効期間(終了)	span_END	文字	

地物名称	属性名称	フィールド名	データ型	備考
	線番号	line_NO	文字	
	道路境界標番号	hyou_NO	文字	
	図面番号	mapno	文字	
道路・水路界	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
道路・青地界	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
水路・青地界	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
道路・水道用地界	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
道路内民地界	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
重複管理区域界	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
その他境界	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
都府県名	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	実数	小数第3位
市名	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	実数	小数第3位
区名	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	実数	小数第3位
町丁目名	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	実数	小数第3位
地番	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	実数	小数第3位
道路表記	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	実数	小数第3位
水路表記	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	実数	小数第3位
青地表記	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	実数	小数第3位
施設表記	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	

地物名称	属性名称	フィールド名	データ型	備考
	文字列角度	moji_ANGL	実数	小数第3位
道路の路線名	データ有効期間(開始)	span_START	文字	
	データ有効期間(終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	実数	小数第3位
鉄道の路線名	データ有効期間(開始)	span_START	文字	
	データ有効期間(終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	実数	小数第3位
河川表記	データ有効期間(開始)	span_START	文字	
	データ有効期間(終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	実数	小数第3位
橋梁表記	データ有効期間(開始)	span_START	文字	
	データ有効期間(終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	実数	小数第3位
重複管理区域	データ有効期間(開始)	span_START	文字	
	データ有効期間(終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	実数	小数第3位
水道用地表記	データ有効期間(開始)	span_START	文字	
	データ有効期間(終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	実数	小数第3位
上空占用区域	データ有効期間(開始)	span_START	文字	
	データ有効期間(終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	実数	小数第3位
その他表記	データ有効期間(開始)	span_START	文字	
	データ有効期間(終了)	span_END	文字	
	表示文字	moji_DISP	文字	
	文字列角度	moji_ANGL	実数	小数第3位
大図郭(旧座標)	データ有効期間(開始)	span_START	文字	
	データ有効期間(終了)	span_END	文字	
	大図郭番号	meshL_NO	文字	
	国土基本図図郭番号	kokudo_NO	文字	
	大図郭名	meshL_NAME	文字	
小図郭(旧座標)	データ有効期間(開始)	span_START	文字	
	データ有効期間(終了)	span_END	文字	
	大図郭番号	meshL_NO	文字	
	国土基本図図郭番号	kokudo_NO	文字	
	小図郭番号	meshS_NO	文字	
	図郭番号	mesh_NO	文字	
	大図郭名	meshL_NAME	文字	
大図郭(新座標)	データ有効期間(開始)	span_START	文字	
	データ有効期間(終了)	span_END	文字	
	大図郭番号	meshL_NO	文字	
	国土基本図図郭番号	kokudo_NO	文字	
	大図郭名	meshL_NAME	文字	

地物名称	属性名称	フィールド名	データ型	備考
小図郭（新座標）	データ有効期間（開始）	span_START	文字	
	データ有効期間（終了）	span_END	文字	
	大図郭番号	meshL_NO	文字	
	国土基本図図郭番号	kokudo_NO	文字	
	小図郭番号	meshS_NO	文字	
	図郭番号	mesh_NO	文字	
	大図郭名	meshL_NAME	文字	
滅失道路区境界線	データ有効期間（開始）	span_START	文字	
	データ有効期間（終了）	span_END	文字	
	長さ	Length	数値	小数第2位
	線番号	line_NO	文字	
	告示区分	kokujiKIND	文字	コードリストより選択
滅失道路境界標（公共座標）	データ有効期間（開始）	span_START	文字	
	データ有効期間（終了）	span_END	文字	
	X座標	coord_X	実数	小数第3位
	Y座標	coord_Y	実数	小数第3位
	事業種別	jigyo_KIND	文字	コードリストより選択
	杭種	kui_KIND	文字	コードリストより選択
	管理者	Admin	文字	コードリストより選択
	告示日	kokuji_DAY	文字	
	完了月日	kanryo_MD	文字	
	補正番号	hosei_NO	文字	
	境界調査簿冊番号	chosabo_NO	文字	
	境界調査決裁日	kessai_DAY	文字	
	図面番号	Mapno	文字	
	道路境界標番号	hyou_NO	文字	
	入力年度	input_Year	文字	
	新図郭	mapno_new	文字	
	滅失道路境界標（任意座標）	データ有効期間（開始）	span_START	文字
データ有効期間（終了）		span_END	文字	
X座標		coord_X	実数	小数第3位
Y座標		coord_Y	実数	小数第3位
事業種別		jigyo_KIND	文字	コードリストより選択
杭種		kui_KIND	文字	コードリストより選択
管理者		Admin	文字	コードリストより選択
告示日		kokuji_DAY	文字	
完了月日		kanryo_MD	文字	
補正番号		hosei_NO	文字	
境界調査簿冊番号		chosabo_NO	文字	
境界調査決裁日		kessai_DAY	文字	
図面番号		Mapno	文字	
点番号		point_NO	文字	
滅失図上点（公共座標）		データ有効期間（開始）	span_START	文字
	データ有効期間（終了）	span_END	文字	
	X座標	coord_X	実数	小数第3位
	Y座標	coord_Y	実数	小数第3位
	事業種別	jigyo_KIND	文字	コードリストより選択
	管理者	Admin	文字	コードリストより選択
	告示日	kokuji_DAY	文字	
	完了月日	kanryo_MD	文字	
補正番号	hosei_NO	文字		

地物名称	属性名称	フィールド名	データ型	備考
	境界調査簿冊番号	chosabo_NO	文字	
	境界調査決裁日	kessai_DAY	文字	
	図面番号	Mapno	文字	
	道路境界標番号	hyou_NO	文字	
	入力年度	input_Year	文字	
	新図郭	mapno_new	文字	
滅失図上点 (任意座標)	データ有効期間 (開始)	span_START	文字	
	データ有効期間 (終了)	span_END	文字	
	X座標	coord_X	実数	小数第3位
	Y座標	coord_Y	実数	小数第3位
	事業種別	jigyo_KIND	文字	コードリストより選択
	管理者	Admin	文字	コードリストより選択
	告示日	kokuji_DAY	文字	
	完了月日	kanryo_MD	文字	
	補正番号	hosei_NO	文字	
	境界調査簿冊番号	chosabo_NO	文字	
	境界調査決裁日	kessai_DAY	文字	
	図面番号	Mapno	文字	
	点番号	point_NO	文字	
	滅失道路境界標間距離表示線	データ有効期間 (開始)	span_START	文字
データ有効期間 (終了)		span_END	文字	
長さ		length	数値	小数第2位
線番号		line_NO	文字	
告示区分		kokujiKIND	文字	コードリストより選択

8 メタデータ

本製品仕様書に基づく横浜市道路台帳区域線図データに関するメタデータの形式および作成単位は次のとおりとする。

8.1 メタデータの形式

日本版メタデータプロファイル JMP2.0 (Japan Metadata Profile 2.0) を採用する。

8.2 メタデータの実行単位

メタデータは、横浜市道路台帳区域線図データの作成単位に対して作成する。